

4.3 水環境目標の達成状況

水環境目標は、流域住民が綾瀬川流域の水環境改善を視覚的に実感でき、親しみやすい指標を目安とした市民環境基準を目標としており、その項目として、「透明感」「臭気・水の色」「ゴミ」「生物の生息・生育（魚類、底生動物、水生植物等）」「水辺の利用」「水辺の風景」を設定している。

清流ルネッサンスⅡの総括に向けて、平成21年度は水環境目標の達成度合いを評価するため、「水環境モニター」および「流域住民アンケート調査」結果を用いた評価方法を検討、地域協議会において協議した。

協議会で提示した評価方法をもとに、「水環境モニター」ならびに「流域住民アンケート」の結果を用いて水環境目標の改善状況ならびに達成度合いの評価を行うものである。

表 4.18 水環境目標の評価方法

評価手法	概要
水環境モニター結果	<ul style="list-style-type: none"> 綾瀬川流域の水環境目標の改善状況ならびに達成状況を把握するため、平成16年から開始された制度。流域住民が主体となりパックテストを用いた簡易な水質検査と見た目の川の様子(水環境目標の指標に合わせたチェック項目を設定)を毎月観察しモニタリングを実施するものである。 開始から6年が経ちデータが蓄積されてきたことから、水環境目標の達成状況の評価するものとする。
流域住民アンケート結果 (インターネット方式によるアンケート)	<ul style="list-style-type: none"> 清流ルネッサンスⅡ行動計画策定に向け、平成13年に流域住民の綾瀬川に対するイメージや流域に望むことなどをアンケートしている。 水環境モニター結果は比較的綾瀬川に慣れ親しんでいる住民の評価となるが、当該アンケートは綾瀬川と関わりの少ない人も含めた評価と捉えることができる。清流ルネッサンスⅡ当初のイメージがどのように変化してきたを見ることによって水環境目標の改善状況の把握に役立つものとする。合わせて、水環境目標の項目についてもアンケートし、目標の達成度合いを評価する。

(1) 水環境モニター結果による達成状況評価

1) モニタリング状況

各ブロックの清流ルネッサンスⅡ目標地点のモニタリングデータの収集状況を表 4.19に示す。

- モニタリングされていなかった目標地点については、同河川の他地点のモニタリング結果を用いて評価した。
- Aブロックの原市沼川およびBブロックの黒谷川においてはモニタリングされておらず評価していない。
- Cブロック（出羽堀）とFブロック（古綾瀬川）の目標地点ではモニタリングされておらずしていない。

表 4.19 清流ルネッサンスⅡ目標地点とモニターデータの収集状況

ブロック名	ルネⅡ目標地点		モニター実施状況	補完地点 (左記でモニター未実施の場合)	モニターデータの収集状況注1)						
	河川名	地点名			H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
A	綾瀬川	大針橋	○	—	3	—	9	8	3	3	3
		関橋	○	—	6	—	12	2	8	11	11
	原市沼川	境橋	×	なし(原市沼川でモニターは未実施)							
B	綾瀬川	暇橋	○	—	—	—	12	12	9	12	7
	深作川	宮ヶ谷塔橋	×	深作川_古箕子橋	5	—	—	—	8	11	11
	黒谷川	尾ヶ崎新田堰	×	なし(黒谷川でモニターは未実施)							
C	出羽堀	出羽堀最下流	×	なし(出羽堀でモニターは未実施)							
D	綾瀬川	槐戸橋	○	—	—	—	—	—	—	10	8
E	綾瀬川	手代橋	×	綾瀬川_宮代橋	—	—	10	3	4	—	1
		内匠橋	○	—	1	—	12	12	11	12	12
	伝右川	伝右橋	○	—	7	—	12	12	11	12	12
	毛長川	鷺宮橋	○	—	—	12	—	—	11	12	12
F	古綾瀬川	古川橋	×	なし(古綾瀬川でモニターは未実施)							
		綾瀬川合流点前	×	なし(古綾瀬川でモニターは未実施)							
G	伝右川	新伝右橋	○	—	—	—	8	8	4	9	4
H	毛長川	谷塚橋	○	—	10	12	10	9	11	—	10
	辰井川	上町境橋	×	辰井川_大沼橋	—	11	10	9	11	—	10
I・J	綾瀬川	新加平橋	×	綾瀬川_綾瀬新橋	1	—	11	11	6	—	5
			綾瀬水門	×	綾瀬川_堀切小橋	1	—	10	12	10	12

注1)H16～H22の数字は調査回数

2) 評価方法

- モニターが調査した「川の様子(パックテストを除く)」に関するモニター結果を活用し、清流ルネッサンスⅡで定めた水環境目標の達成状況の評価した。
- 「透明感」「臭気・水の色」「川のゴミ」などの各項目について、年間で最も回数の多い評価をその年の評価点とし、レーダーチャートに示した（評価点が大きいほど評価が高い、すなわち、レーダーチャートで囲まれた領域が広いほど評価が高いことになる）。
- 各項目の評価点の平均点をもとに各地点の水環境目標の達成状況の評価した。

注)「生物」の項目は、具体的な目標種が設定されているため、別途実施されている「綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果」を用いて評価した。

3) 水環境目標の達成状況評価

収集したモニターデータを用いて、目標地点の平成22年時点の水環境目標の達成状況の評価し、表4.20にまとめた。各地点の評価は次頁以降に示した。

- 水環境に対する評価はモニター開始時（平成18年）に比べ平成22年のほうが高く、モニターは水環境が改善していると実感している
- また、清流ルネッサンスⅡの水環境目標を概ね達成できていると評価できる

表 4.20 水環境目標の達成状況評価まとめ

河川名	評価地点	評価年	各項目の評価【5点満点】 ^{注1)}								目標達成状況の評価	
			透明感		臭気・水の色		川のゴミ		生物 ^{注2)}	水辺の利用	平均点	総合評価
			水の透明感	川底	臭気	水の色	川の中のゴミ	川岸のゴミ				
綾瀬川	大針橋	H18	1	2	3	3	3	3	5	2	2.8	△
		H22	1	1	4	4	3	3	5	1	2.8	△
	関橋	H18	2	5	3	3	4	3	5	1	3.3	○
		H22	2	5	4	4	5	5	5	1	3.9	○
	吸橋	H18	2	2	5	3	4	4	5	3	3.5	○
		H22	5	2	5	3	5	4	5	3	4.0	◎
	梶戸橋 ^{注3)}	H21	2	1	4	3	3	4	5	2	3.0	○
		H22	2	1	4	3	4	3	5	2	3.0	○
	宮代橋	H18	1	1	4	4	3	5	5	1	3.0	○
		H22	2	2	4	4	-	5	5	-	3.7	○
	内匠橋	H18	-	1	4	3	4	-	5	-	3.4	○
		H22	1	1	3	4	3	-	5	-	2.8	△
綾瀬新橋	H18	-	3	5	3	5	-	5	-	4.2	◎	
	H22	2	1	4	3	3	-	5	-	3.0	○	
堀切小橋	H18	2	5	4	4	5	4	5	1	3.8	○	
	H22	2	5	4	4	2	4	5	2	3.5	○	
深作川	古箕子橋	H20	2	2	4	4	5	5	3	3.8	○	
		H22	2	4	4	4	5	5	3	4.0	◎	
伝右川	新伝右橋	H18	2	5	4	4	3	3	5	1	3.4	○
		H22	2	1	3	4	3	1	5	1	2.5	△
	伝右橋	H18	1	1	5	3	4	-	5	-	3.2	○
		H22	1	1	4	5	5	-	5	-	3.5	○
毛長川	大沼橋	H17	1	2	4	4	5	5	3	3.6	○	
		H22	2	1	4	5	5	5	5	3	3.8	○
	谷塚橋	H17	2	1	5	5	3	3	5	3	3.4	○
		H22	2	1	5	5	5	5	5	3	3.9	○
	鷺宮橋	H17	3	1	5	4	4	-	5	-	3.7	○
		H22	2	1	4	3	2	-	5	-	2.8	△

注1) 各項目の評価は、年間で最も回答の多い評価を採用。数値が入っていない項目は調査なし。

注2) 生物の項目は、魚類や底生動物等の目標種が設定されているため、モニターデータではなく綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果を用いて、

目標種が確認されているかどうかで評価した結果。すべての目標種が確認されていない場合もあるが複数の種が確認されていたため5点の評価としている

注3) H21からモニター調査を開始

【各項目の評価方法】

評価	調査項目									
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない	
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭いにならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	紙くずがある	
3	川に近づきやすい	色がついてる	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散策	カンやビンなどのゴミがある	
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている	
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がいる	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	

【達成状況の評価方法】

平均点	総合評価	
4点以上	◎	目標を達成
3点以上4点未満	○	目標を概ね達成
2点以上3点未満	△	目標まであと一歩
2点未満	×	目標未達成

① Aブロック

【あるべき姿】

田園的な風景の中で水辺に親しめ、多様な生き物が生息・生育可能な水環境を保全するため、春の小川の姿を目標とする。

表4.21 Aブロックの水環境目標の評価

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価																																																																						
		綾瀬川（大針橋）	評価	綾瀬川（関橋）	評価																																																																			
川の中	透明感	橋から川底が見え、川の中に入ってみたいと感じられる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「魅力がない」という評価 川底は、H18は「ほとんど見えない」という評価であったが、H22は「見えない」という評価 	1	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「川に近づきにくい」という評価 川底は「見える」という評価 	2																																																																		
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は、H18は「少し臭いがする」という評価であったが、H22は「気にならない」という評価に改善 	4	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は、H18は「少し臭いがする」であったが、H22は「気にならない」に改善 	4																																																																		
			<ul style="list-style-type: none"> 水の色は、H18は「色がついている」であったが、H22は「若干色がある」に改善 	4	<ul style="list-style-type: none"> 水の色は、H18は「色がついている」であったが、H22は「若干色がある」に改善 	4																																																																		
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、「カンやビンなどのゴミがある」という評価 	3	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは「草木がある」であったが、H22は「ゴミがない」に改善 	5																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> 川岸のゴミは、「カンやビンなどのゴミがある」という評価 			3	<ul style="list-style-type: none"> 川岸のゴミは、H18は「カンやビンなどのゴミがある」であったが、H22は「ゴミがない」に改善 	5																																																																			
生物	魚類	本川や原市沼川、周囲の農業用水路にドジョウ、オイカワ、ヨシノボリ、メダカ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・妙見橋）より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、オイカワ、ヨシノボリ、メダカの生息が確認されている 底生動物は、スジエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・妙見橋）より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、オイカワ、ヨシノボリ、メダカの生息が確認されている 底生動物は、スジエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5																																																																		
	底生動物	スジエビ、カワニナ等が生息できる川らしさを目指す。																																																																						
	植生	ヨシ、マコモ等の抽水性植物や沈水性植物が生育する川らしさを目指す。																																																																						
	その他生物	本川ではゲンジボタル、小水路ではヘイケボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。																																																																						
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散歩等の水辺利用を可能とするよう、管理用通路を活用した遊歩道の整備により水辺に親しめる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> H18は「釣りやサイクリング」利用という評価であったが、H22は「何もしていない」という評価 	1	<ul style="list-style-type: none"> 「何もしていない」という評価 	1																																																																			
水辺の風景	周囲の田園的風景と調和し、周りにゴミがなく、水辺に近づけやすく、水の心地よい音が聞こえ、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-																																																																			
レーダーチャート	<p>【各調査項目の評価】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="9">調査項目</th> </tr> <tr> <th>水の透明感</th> <th>水の色</th> <th>水の量</th> <th>川底</th> <th>川の中のゴミ</th> <th>におい</th> <th>生き物</th> <th>水辺の利用</th> <th>川岸のゴミ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>顔を水につけることができる</td> <td>無色</td> <td>非常に豊か</td> <td>川底がみえる</td> <td>ゴミがない</td> <td>無臭</td> <td>非常にきれいな水に棲む生き物がいる</td> <td>水遊び</td> <td>ゴミがない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>川の中に入って遊びやすい</td> <td>若干色がある</td> <td>多い</td> <td>たまに見える</td> <td>草木がある</td> <td>気にならない</td> <td>きれいな水に棲む生き物がいる</td> <td>船遊び</td> <td>掃くがある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川に近づきやすい</td> <td>色がついている</td> <td>流れがある</td> <td>ゴミがある</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td>少し臭いがする</td> <td>少し汚れた水に棲む生き物がいる</td> <td>散歩</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川に近づきにくい</td> <td>白色</td> <td>少ない</td> <td>ほとんど見えない</td> <td>自転車などがある</td> <td>逃げたくなる</td> <td>汚れた水に棲む生き物がいる</td> <td>釣りやサイクリング</td> <td>油が漏れている</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>魅力がない</td> <td>どす黒い</td> <td>よどんでいる</td> <td>見えない</td> <td>油が浮いている</td> <td>近寄れない</td> <td>ひどく汚れた水に棲む生き物がない</td> <td>何もしていない</td> <td>ゴミ捨て場になっている</td> </tr> </tbody> </table>	評価	調査項目									水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない	4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	掃くがある	3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散歩	カンやビンなどのゴミがある	2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている	1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がない	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	<p>【綾瀬川(大針橋)】</p> <p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用） ※ 評価0は調査未実施のため評価不可</p>	<p>【綾瀬川(関橋)】</p> <p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用） ※ 評価0は調査未実施のため評価不可</p>
評価	調査項目																																																																							
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ																																																															
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない																																																															
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	掃くがある																																																															
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散歩	カンやビンなどのゴミがある																																																															
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている																																																															
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がない	何もしていない	ゴミ捨て場になっている																																																															

② Bブロック

【あるべき姿】

都市と田園が共生した空間、清らかな流れを回復し、水辺を育む水環境を確保していくため、さらさらと流れる水の姿を目標とする。

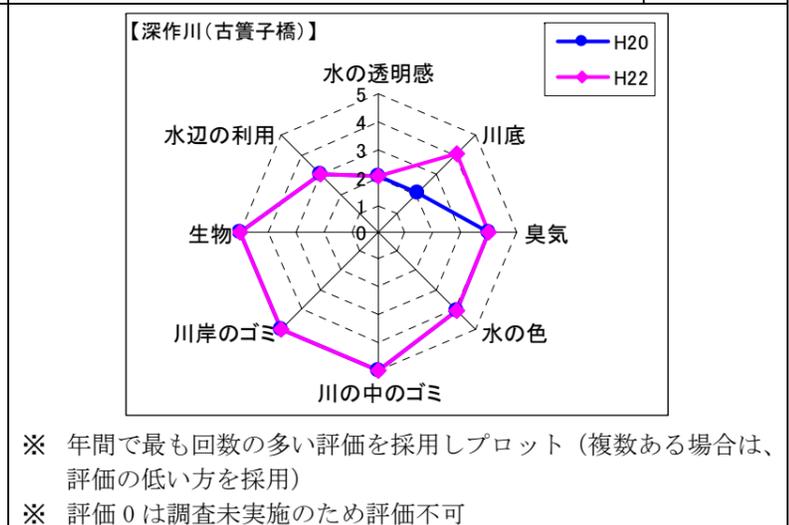
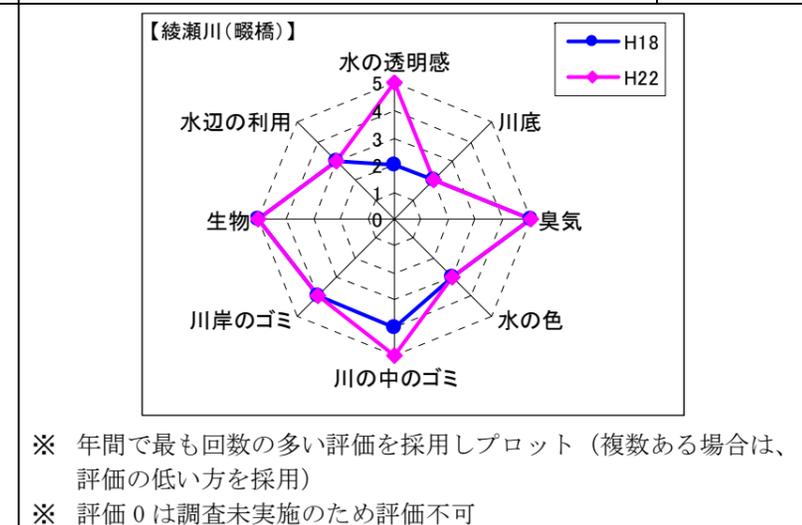
表 4.22 Bブロックの水環境目標の評価

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価				
		綾瀬川（堰橋）	評価	深作川（宮ヶ谷塔橋）※古簀子橋で代用	評価	
川の中	透明感	橋から川底が見え、川の中に入ってみたいと感じられる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は、H18は「川に近づきにくい」という評価であったが、H22は「顔を水につけることができる」という評価に改善 川底は「ほとんど見えない」という評価 	5	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「川に近づきにくい」という評価 川底は、H20は「ほとんど見えない」であったが、H22は「たまに見える」に改善 	2
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色が無い川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は「無臭」という評価 水の色は「色が付いている」という評価 	5	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は「気にならない」という評価 水の色は「若干色がある」という評価 	4
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、H18は「草木がある」であったが、H22は「ゴミがない」という評価に改善 川岸のゴミは「紙くずがある」という評価 	5	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは「ゴミがない」という評価 川岸のゴミは「ゴミがない」という評価 	5
生物	魚類	本川ではドジョウ、モツゴ、ヨシノボリ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。黒谷川等の支川、小水路ではメダカ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・堰橋および佐藤橋）より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴ、ヨシノボリの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビやスジエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・堰橋および佐藤橋）より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴ、ヨシノボリの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビやスジエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5
	底生動物	テナガエビやスジエビ、カワニナ等が生息する川らしさを目指す。				
	植生	ヨシやマコモ等の抽水性植物や沈水性植物の良好な生育環境を確保し、河岸植生が見られる川らしさを目指す。				
	その他生物	本川ではゲンジボタル、小水路ではヘイケボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。				
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散歩等の水辺利用を可能とするよう、管理用通路や遊歩道及び親水公園等の整備により水辺に親しめる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「散歩」の利用という評価 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「散歩」の利用という評価 	3	
水辺の風景	周囲の田園的風景やまちづくりと調和し、周りにゴミがなく、水辺に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-	

レーダーチャート

【各調査項目の評価】

評価	調査項目									
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	臭気
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	ゴミがない	
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭いにならない	きれいな水に棲む生き物が多い	船遊び	紙くずがある	
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがある	少し汚れた水に棲む生き物が多い	散歩	カンやビンなどのゴミがある	
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくない	汚れた水に棲む生き物が多い	釣りやサイクリング	油が漏れている	
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物が多い	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	



③ Dブロック

【あるべき姿】

綾瀬川の水の歴史を有するシンボル空間、かつての水のイメージを改善し、水辺を活かした都市再生を図るため、水に親しむことのできる姿を目標とする。

表 4.23 Dブロックの水環境目標の評価

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価																																																																							
		綾瀬川（槐戸橋）	評価																																																																						
川の中	透明感	橋から川底が見え、川の中に入ってみたいと感じられる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「川に近づきにくい」という評価 川底は「見えない」という評価 	2 1																																																																					
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は「気にならない」という評価 水の色は「色がついている」という評価 	4 3																																																																					
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、H21は「カンやビンなどのゴミがある」という評価であったが、H22は「草木がある」という評価に改善 川岸のゴミは、H21は「紙くずがある」という評価であったが、H22は「カンやビンなどのゴミがある」という評価 	4 3																																																																					
生物	魚類	オイカワやドジョウ、モツゴ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・綾瀬橋、出羽堀・出羽堀最下流）より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5																																																																					
	底生動物	カワゲラ、テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを目指す。																																																																							
	植生	ヨシ等の抽水性植物や沈水性植物の良好な生育環境を確保し、河岸植生が見られる川らしさを目指す。																																																																							
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。																																																																							
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散策等の水辺利用、水辺に触れられ、水辺に親しめる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「釣りやサイクリング」の利用が見られるという評価 	2																																																																						
水辺の風景	美しい倒景を生み出す草加松原の松並木の景観を保全や水辺を活かしたまちづくりと一体となって、ゴミが無く、水辺に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	—																																																																						
レーダーチャート	【各調査項目の評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="9">調査項目</th> </tr> <tr> <th>水の透明感</th> <th>水の色</th> <th>水の量</th> <th>川底</th> <th>川の中のゴミ</th> <th>におい</th> <th>生き物</th> <th>水辺の利用</th> <th>川岸のゴミ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>顔を水につけることができる</td> <td>無色</td> <td>非常に豊か</td> <td>川底が見える</td> <td>ゴミがない</td> <td>無臭</td> <td>非常にきれいな水に棲む生き物が多い</td> <td>水遊び</td> <td>ゴミがない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>川の中に入って遊びやすい</td> <td>若干色がある</td> <td>多い</td> <td>たまに見える</td> <td>草木がある</td> <td>臭にならない</td> <td>きれいな水に棲む生き物が多い</td> <td>水遊び</td> <td>紙くずがある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川に近づきやすい</td> <td>色がついている</td> <td>流れがある</td> <td>ゴミがある</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td>少し臭いがする</td> <td>少し汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>散策</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川に近づきにくい</td> <td>白色</td> <td>少ない</td> <td>ほとんど見えない</td> <td>自転車などがある</td> <td>逃げたくなる</td> <td>汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>釣りやサイクリング</td> <td>油が漏れている</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>魅力がない</td> <td>どす黒い</td> <td>よどんでいる</td> <td>見えない</td> <td>油が浮いている</td> <td>近寄れない</td> <td>ひどく汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>何もしていない</td> <td>ゴミ捨て場になっている</td> </tr> </tbody> </table>		評価	調査項目									水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底が見える	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	ゴミがない	4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭にならない	きれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	紙くずがある	3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物が多い	散策	カンやビンなどのゴミがある	2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物が多い	釣りやサイクリング	油が漏れている	1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物が多い	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	【綾瀬川（槐戸橋）】	
評価	調査項目																																																																								
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ																																																																
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底が見える	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	ゴミがない																																																																
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭にならない	きれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	紙くずがある																																																																
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物が多い	散策	カンやビンなどのゴミがある																																																																
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物が多い	釣りやサイクリング	油が漏れている																																																																
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物が多い	何もしていない	ゴミ捨て場になっている																																																																
		<p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用）</p> <p>※ 評価0は調査未実施のため評価不可</p>																																																																							

④ Eブロック

【あるべき姿】

市街地の中で唯一残された自然空間、地域の身近な水辺環境を意識できる水環境を回復するため、透明感のある水の姿を目標とする。

表 4.24 Eブロックの水環境目標の評価 (1/2)

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価																																																																													
		綾瀬川 (手代橋) ※宮代橋で代用	評価	綾瀬川 (内匠橋)	評価																																																																										
川の中	透明感	橋から川底が見え、水辺に近づきたいと思わせる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は、H18は「魅力がない」という評価であったが、H22は「川に近づきにくい」という評価 川底は、H18は「見えない」という評価であったが、H22は「ほとんど見えない」という評価 	2	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「魅力がない」という評価 川底は「見えない」という評価 	1																																																																									
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色が無い川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は「気にならない」という評価 水の色は「若干色がある」という評価 	4	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は「気にならない」という評価 水の色は、H18は「色がついている」という評価であったが、H22は「若干色がある」という評価に改善 	3																																																																									
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは「カンやビンなどのゴミがある」という評価 川岸のゴミは「ゴミがない」という評価 	-	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、H18は「草木がある」とあったが、H22は「カンやビンなどのゴミがある」という評価 	3																																																																									
生物	魚類	ドジョウ、モツゴ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果 (綾瀬川・手代橋) より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビやスジエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果 (綾瀬川・内匠橋) より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5																																																																									
	底生動物	コガタシマトビケラやオオシマトビケラ、テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを目指す。																																																																													
	植生	河岸に様々な植生が見られる良好な生育環境を確保した川らしさを目指す。																																																																													
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。																																																																													
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散歩等の水辺利用、水辺に触れられ、水辺に親しめる川らしさを目指す。	「何もしていない」という評価	-	(調査なし)	-																																																																										
水辺の風景	開放的な水辺空間を活かし、周りにゴミがなく、水辺に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-																																																																										
レーダーチャート	<p>【各調査項目の評価】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="10">調査項目</th> </tr> <tr> <th>水の透明感</th> <th>水の色</th> <th>水の量</th> <th>川底</th> <th>川の中のゴミ</th> <th>におい</th> <th>生き物</th> <th>水辺の利用</th> <th>川岸のゴミ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>顔を水につけることができる</td> <td>無色</td> <td>非常に豊か</td> <td>川底が見える</td> <td>ゴミがない</td> <td>無臭</td> <td>非常にきれいな水に棲む生き物がいる</td> <td>水遊び</td> <td>ゴミがない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>川の中に入って遊びやすい</td> <td>若干色がある</td> <td>多い</td> <td>たまに見える</td> <td>草木がある</td> <td>気にならない</td> <td>きれいな水に棲む生き物がいる</td> <td>船遊び</td> <td>紙くずがある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川に近づきやすい</td> <td>色がついている</td> <td>流れがある</td> <td>ゴミがある</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td>少し臭いがある</td> <td>少し汚れた水に棲む生き物がいる</td> <td>散歩</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川に近づきにくい</td> <td>白色</td> <td>少ない</td> <td>ほとんど見えない</td> <td>自転車などがある</td> <td>逃げたくなる</td> <td>汚れた水に棲む生き物がいる</td> <td>釣りやサイクリング</td> <td>油が漏れている</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>魅力がない</td> <td>どす黒い</td> <td>よどんでいる</td> <td>見えない</td> <td>油が浮いている</td> <td>近寄れない</td> <td>ひどく汚れた水に棲む生き物がいる</td> <td>何もしていない</td> <td>ゴミ捨て場になっている</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	調査項目										水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ		5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底が見える	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない		4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	紙くずがある		3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがある	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散歩	カンやビンなどのゴミがある		2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている		1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がいる	何もしていない	ゴミ捨て場になっている		<p>【綾瀬川(宮代橋)】</p> <p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット (複数ある場合は、評価の低い方を採用) ※ 評価 0 は調査未実施のため評価不可</p>	<p>【綾瀬川(内匠橋)】</p> <p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット (複数ある場合は、評価の低い方を採用) ※ 評価 0 は調査未実施のため評価不可</p>
評価	調査項目																																																																														
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ																																																																						
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底が見える	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない																																																																						
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	紙くずがある																																																																						
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがある	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散歩	カンやビンなどのゴミがある																																																																						
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている																																																																						
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がいる	何もしていない	ゴミ捨て場になっている																																																																						

表 4.25 Eブロックの水環境目標の評価(2/2)(案)

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価																																																																						
		毛長川(鷺宮橋)	評価	伝右川(伝右橋)	評価																																																																			
川の中	透明感	橋から川底が見え、水辺に近づきたいと思われる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は、H17は「川に近づきやすい」であったが、H22は「川に近づきにくい」という評価 川底は「見えない」という評価 	2	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「魅力がない」という評価 川底は「見えない」という評価 	1																																																																		
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は、H17は「無臭」であったが、H22は「気にならない」という評価 水の色は、H17は「若干色がある」であったが、H22は「色がついている」という評価 	4	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は、H18は「無臭」であったが、H22は「気にならない」の評価 水の色は、H18は「色がついている」であったが、H22は「無色」という評価に改善 	4																																																																		
			<ul style="list-style-type: none"> 水の色は、H17は「若干色がある」であったが、H22は「色がついている」という評価 	3	<ul style="list-style-type: none"> 水の色は、H18は「色がついている」であったが、H22は「無色」という評価に改善 	5																																																																		
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、H17は「草木がある」であったが、H22は「自転車などがある」という評価 	2	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは、H18は「草木がある」という評価であったが、H22は「ゴミがない」という評価に改善 	5																																																																		
(調査なし)			-	(調査なし)	-																																																																			
生物	魚類	ドジョウ、モツゴ等の魚類が生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果(綾瀬川・伝右川合流点)より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果(綾瀬川・伝右川合流点)より】 <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5																																																																		
	底生動物	コガタシマトビケラやオオシマトビケラ、テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを目指す。																																																																						
	植生	河岸に様々な植生が見られる良好な生育環境を確保した川らしさを目指す。																																																																						
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。																																																																						
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散歩等の水辺利用、水辺に触れられ、水辺に親しめる川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-																																																																			
水辺の風景	開放的な水辺空間を活かし、周りにゴミがなく、水辺に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-																																																																			
レーダーチャート	【各調査項目の評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="9">調査項目</th> </tr> <tr> <th>水の透明感</th> <th>水の色</th> <th>水の量</th> <th>川底</th> <th>川の中のゴミ</th> <th>におい</th> <th>生き物</th> <th>水辺の利用</th> <th>川岸のゴミ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>顔を水につけることができる</td> <td>無色</td> <td>非常に豊か</td> <td>川底がみえる</td> <td>ゴミがない</td> <td>無臭</td> <td>非常にきれいな水に棲む生き物が多い</td> <td>水遊び</td> <td>ゴミがない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>川の中に入って遊びやすい</td> <td>若干色がある</td> <td>多い</td> <td>たまに見える</td> <td>草木がある</td> <td>気にならない</td> <td>きれいな水に棲む生き物が多い</td> <td>水遊び</td> <td>紙くずがある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川に近づきやすい</td> <td>色がついている</td> <td>流れがある</td> <td>ゴミがある</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td>少し臭いがする</td> <td>少し汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>散歩</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川に近づきにくい</td> <td>白色</td> <td>少ない</td> <td>ほとんど見えない</td> <td>自転車などがある</td> <td>逃げたくなる</td> <td>汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>釣りやサイクリング</td> <td>油が漏れている</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>魅力がない</td> <td>どす黒い</td> <td>よどんでいる</td> <td>見えない</td> <td>油が浮いている</td> <td>近寄れない</td> <td>ひどく汚れた水に棲む生き物が多い</td> <td>何もしていない</td> <td>ゴミ捨て場になっている</td> </tr> </tbody> </table>	評価	調査項目									水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	ゴミがない	4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	紙くずがある	3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物が多い	散歩	カンやビンなどのゴミがある	2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物が多い	釣りやサイクリング	油が漏れている	1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物が多い	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	【毛長川(鷺宮橋)】	【伝右川(伝右橋)】
			評価	調査項目																																																																				
水の透明感	水の色	水の量		川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ																																																															
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	ゴミがない																																																															
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物が多い	水遊び	紙くずがある																																																															
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物が多い	散歩	カンやビンなどのゴミがある																																																															
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物が多い	釣りやサイクリング	油が漏れている																																																															
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物が多い	何もしていない	ゴミ捨て場になっている																																																															
		※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット(複数ある場合は、評価の低い方を採用) ※ 評価0は調査未実施のため評価不可	※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット(複数ある場合は、評価の低い方を採用) ※ 評価0は調査未実施のため評価不可																																																																					

⑤ Gブロック

【あるべき姿】

都市化が進展する一方で田園風景が残る水空間、街の中の河川や水路の再生を図り、良好な水環境を伝えていくため、美しい水辺の本来の姿を目標とする。

表 4.26 Gブロックの水環境目標の評価

指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価																																																																												
		伝右川（新伝右橋）	評価																																																																											
川の中	透明感	橋から川底が見え、水辺に近づきたいと思われる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 透明感は「川に近づきにくい」という評価 川底は、H18は「見える」であったが、H22は「見えない」という評価 	2 1																																																																										
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 臭気は、H18は「気にならない」であったが、H22は「少し臭いがする」という評価 水の色は「若干色がある」という評価 	3 4																																																																										
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 川の中のゴミは「カンやビンなどのゴミがある」という評価 川岸のゴミは、H18は「カンやビンなどのゴミがある」であったが、H22は「ゴミ捨て場になっている」という評価 	3 1																																																																										
生物	魚類	河川内ではオイカワ、ドジョウ、モツゴ等の魚類が生息でき、小水路ではメダカ等が生息できる川らしさを目指す。	<p>【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・伝右川合流点）より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている 植生およびその他生物は調査なし 	5																																																																										
	底生動物	コガタシマトビケラやオオシマトビケラ、テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを目指す。																																																																												
	植生	ヨシ、マコモ等抽水性植物や沈水性植物の良好な生育環境を確保し、河岸植生が見られる川らしさを目指す。																																																																												
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。																																																																												
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散策等の水辺利用、水辺に触れられ、水辺に親しめる川らしさを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の利用は「何もしていない」という評価 	1																																																																											
水辺の風景	周囲の田園風景や都市域の景観と調和した水辺空間として、ゴミが無く、水辺に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-																																																																											
レーダーチャート	<p>【各調査項目の評価】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="10">調査項目</th> </tr> <tr> <th>水の透明感</th> <th>水の色</th> <th>水の量</th> <th>川底</th> <th>川の中のゴミ</th> <th>におい</th> <th>生き物</th> <th>水辺の利用</th> <th>川岸のゴミ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>顔を水につけることができる</td> <td>無色</td> <td>非常に豊か</td> <td>川底がみえる</td> <td>ゴミがない</td> <td>無臭</td> <td>非常にきれいな水に棲む生き物がある</td> <td>水遊び</td> <td>ゴミがない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>川の中に入って遊びやすい</td> <td>若干色がある</td> <td>多い</td> <td>たまに見える</td> <td>草木がある</td> <td>臭い</td> <td>きれいな水に棲む生き物がある</td> <td>船遊び</td> <td>紙くずがある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川に近づきやすい</td> <td>色がついている</td> <td>流れがある</td> <td>ゴミがある</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td>少し臭い</td> <td>少し汚れた水に棲む生き物がある</td> <td>散策</td> <td>カンやビンなどのゴミがある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川に近づきにくい</td> <td>白色</td> <td>少ない</td> <td>ほとんど見えない</td> <td>自転車などがある</td> <td>逃げたくなる</td> <td>汚れた水に棲む生き物がある</td> <td>釣りやサイクリング</td> <td>油が漏れている</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>魅力がない</td> <td>どす黒い</td> <td>よどんでいる</td> <td>見えない</td> <td>油が浮いている</td> <td>近寄れない</td> <td>ひどく汚れた水に棲む生き物がない</td> <td>何もしていない</td> <td>ゴミ捨て場になっている</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	調査項目										水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ		5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がある	水遊び	ゴミがない		4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭い	きれいな水に棲む生き物がある	船遊び	紙くずがある		3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭い	少し汚れた水に棲む生き物がある	散策	カンやビンなどのゴミがある		2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がある	釣りやサイクリング	油が漏れている		1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がない	何もしていない	ゴミ捨て場になっている		<p>【伝右川(新伝右橋)】</p> <p>※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用） ※ 評価0は調査未実施のため評価不可</p>
評価	調査項目																																																																													
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ																																																																					
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がある	水遊び	ゴミがない																																																																					
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭い	きれいな水に棲む生き物がある	船遊び	紙くずがある																																																																					
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭い	少し汚れた水に棲む生き物がある	散策	カンやビンなどのゴミがある																																																																					
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がある	釣りやサイクリング	油が漏れている																																																																					
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がない	何もしていない	ゴミ捨て場になっている																																																																					

⑥ Hブロック

【あるべき姿】

都市化の中で水路と化した水辺空間、沿川の賑わいを回復し、健康的な水辺環境を再生するため、水の流れのあるきれいな姿を目標とする。

表 4.27 Hブロックの水環境目標の評価

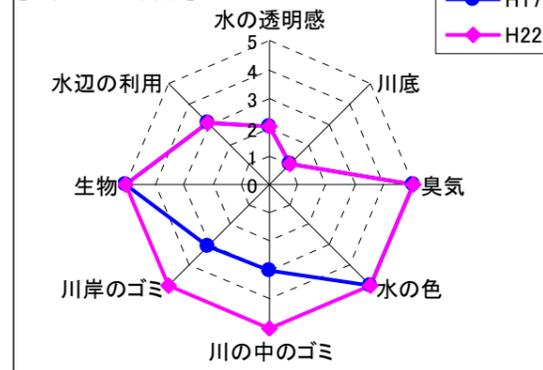
指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価				
		毛長川（谷塚橋）	評価	辰井川（上町境橋）※大沼橋で代用	評価	
川の中	透明感	橋から川底が見え、水辺に触れたいと思われる川らしさを指す。	・ 透明感は「川に近づきにくい」という評価	2	・ 透明感は、H17は「魅力がない」であったが、H22は「川に近づきにくい」という評価	2
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを指す。	・ 臭気は「無臭」という評価 ・ 水の色は「無色」という評価	5	・ 臭気は「気にならない」という評価 ・ 水の色は、H17は「若干色がある」であったが、H22は「無色」という評価に改善	4
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを指す。	・ 川の中のゴミは、H17は「カンやビンなどのゴミがある」であったが、H22は「ゴミがない」という評価に改善 ・ 川岸のゴミは、H17は「カンやビンなどのゴミがある」であったが、H22は「ゴミがない」という評価に改善	5	・ 川の中のゴミは「ゴミがない」という評価 ・ 川岸のゴミは「ゴミがない」という評価	5
生物	魚類	オイカワ、ドジョウ、モツゴ等の魚類が生息できる川らしさを指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・伝右川合流点）より】 ・ 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている ・ 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている ・ 植生およびその他生物は調査なし	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・伝右川合流点）より】 ・ 魚類は、ドジョウ、モツゴの生息が確認されている ・ 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている ・ 植生およびその他生物は調査なし	5
	底生動物	コガタシマトビケラやオオシマトビケラ、テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを指す。				
	植生	河岸に様々な植生が見られる良好な生育環境を確保した川らしさを指す。				
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを指す。				
水辺の利用	子どもたちの体験活動、釣りや散歩等の水辺利用、管理用通路等を活用した水辺に親しめる川らしさを指す。	・ 「散歩」の利用が見られるという評価	3	・ 「散歩」の利用が見られるという評価	3	
水辺の風景	住宅地内に残る貴重な水辺空間を活用し、周りにゴミがなく、川に近づけやすく、水の流れが見え、水辺で憩える川らしさを指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-	

レーダーチャート

【各調査項目の評価】

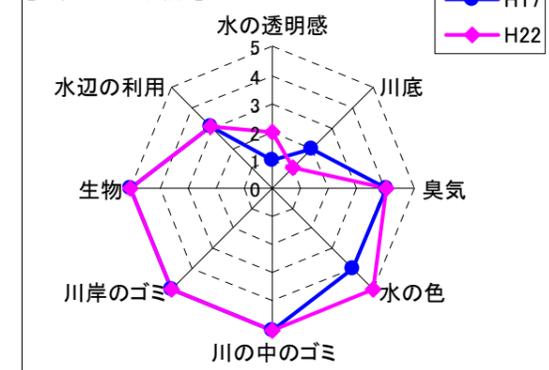
評価	調査項目								
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底が見える	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	臭にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	紙くずがある
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散歩	カンやビンなどのゴミがある
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくない	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がいる	何もしていない	ゴミ捨て場になっている

【毛長川(谷塚橋)】



※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用）
※ 評価0は調査未実施のため評価不可

【毛長川(大沼橋)】



※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用）
※ 評価0は調査未実施のため評価不可

⑦ I・Jブロック

【あるべき姿】

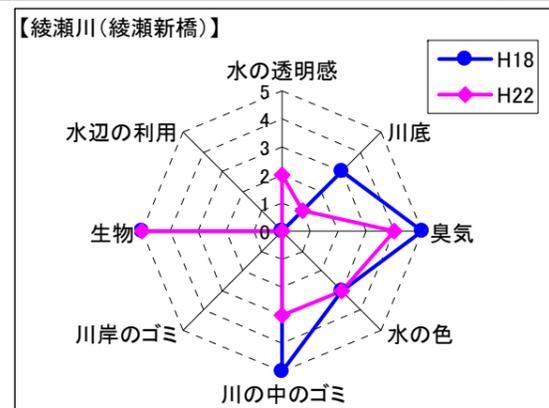
感潮区間で水辺に近づけない空間、水辺を意識した沿川の地域づくりによる水空間の再生を図るため、人々が集う空間となる姿を目標とする。

表 4.28 I・Jブロックの水環境目標の評価

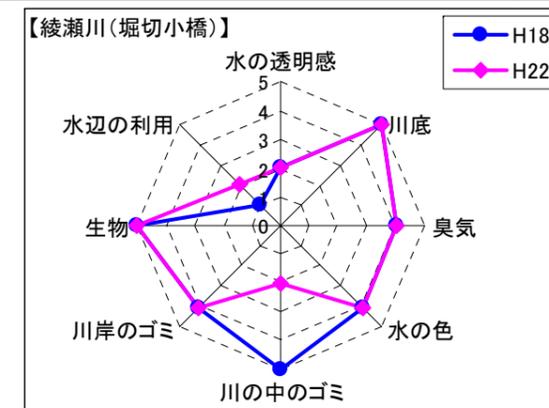
指標	目標	モニターおよび綾瀬川浄化対策協議会による評価				
		綾瀬川（新加平橋）※綾瀬新橋で代用	評価	綾瀬川（綾瀬水門）※堀切小橋で代用	評価	
川の中	透明感	橋から川底が見え、川を見て美しいと感じられる川らしさを目指す。	・ 透明感は、「川に近づきにくい」という評価 ・ 川底は、H18 は「ゴミがある」であったが、H22 は「見えない」という評価	2 1	・ 透明感は、「川に近づきにくい」という評価 ・ 川底は「見える」という評価	2 5
	臭気・水の色	不快でない臭い、濁りや色がない川らしさを目指す。	・ 臭気は、H18 は「無臭」であったが、H22 は「気にならない」という評価 ・ 水の色は「色がついている」という評価	4 3	・ 臭気は「気にならない」という評価 ・ 水の色は「若干色がある」という評価	4 4
	川のゴミ	水際や川の中にゴミや浮遊物がなく、川底がきれいな川らしさを目指す。	・ 川の中のゴミは、H18 は「ゴミがない」であったが、H22 は「カンやビンなどのゴミがある」という評価 (調査なし)	3 -	・ 川の中のゴミは、H18 は「ゴミがない」であったが、H22 は「自転車などがある」という評価 ・ 川岸のゴミは「紙くずがある」という評価	2 4
生物	魚類	マハゼやヌマチチブ、ハゼ等の汽水域に見られる魚類が多く生息できる川らしさを目指す。	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・木根川橋）より】 ・ 魚類は、マハゼ、ヌマチチブの生息が確認されている ・ 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている ・ 植生およびその他生物は調査なし	5	【綾瀬川浄化対策協議会の生物調査結果（綾瀬川・木根川橋）より】 ・ 魚類は、マハゼ、ヌマチチブの生息が確認されている ・ 底生動物は、テナガエビの生息が確認されている ・ 植生およびその他生物は調査なし	5
	底生動物	テナガエビやスジエビ等が生息する川らしさを目指す。				
	植生	河岸に様々な植生が見られる良好な生育環境を確保した川らしさを目指す。				
	その他生物	ゲンジボタルが生息可能な水辺のある川らしさを目指す。				
水辺の利用	釣りや散策等の水辺利用が可能となるよう、高潮護岸の改善等により水辺に近づくことができ、水辺に親しめる川らしさを目指す。	(調査なし)	-	・ H18 は「何もしていない」という評価であったが、H22 は「釣りやサイクリング」の利用という評価に改善	2	
水辺の風景	感潮域に残る貴重な水辺空間を活用し、周りにゴミがなく、高潮護岸等の修景等により水の流れを見て楽しむ、水辺で憩える川らしさを目指す。	(調査なし)	-	(調査なし)	-	

【各調査項目の評価】

評価	調査項目									
	水の透明感	水の色	水の量	川底	川の中のゴミ	におい	生き物	水辺の利用	川岸のゴミ	
5	顔を水につけることができる	無色	非常に豊か	川底がみえる	ゴミがない	無臭	非常にきれいな水に棲む生き物がいる	水遊び	ゴミがない	
4	川の中に入って遊びやすい	若干色がある	多い	たまに見える	草木がある	気にならない	きれいな水に棲む生き物がいる	船遊び	紙くずがある	
3	川に近づきやすい	色がついている	流れがある	ゴミがある	カンやビンなどのゴミがある	少し臭いがする	少し汚れた水に棲む生き物がいる	散策	カンやビンなどのゴミがある	
2	川に近づきにくい	白色	少ない	ほとんど見えない	自転車などがある	逃げたくなる	汚れた水に棲む生き物がいる	釣りやサイクリング	油が漏れている	
1	魅力がない	どす黒い	よどんでいる	見えない	油が浮いている	近寄れない	ひどく汚れた水に棲む生き物がない	何もしていない	ゴミ捨て場になっている	



※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用）
※ 評価0は調査未実施のため評価不可



※ 年間で最も回数の多い評価を採用しプロット（複数ある場合は、評価の低い方を採用）
※ 評価0は調査未実施のため評価不可

(2) 流域住民アンケートによる達成状況評価

1) アンケート調査の概要

綾瀬川清流ルネッサンス地域協議会では、清流ルネッサンスⅡ計画策定に向けた検討の中で綾瀬川流域の水環境に対する流域住民のイメージを評価するため、平成13年度にアンケート調査を行っている（図4.43参照）。

その結果を活用し、綾瀬川水環境のイメージの変化から水環境の改善状況を把握するとともに、水環境目標の達成度合いを評価するため、流域住民に対してアンケートを実施した。

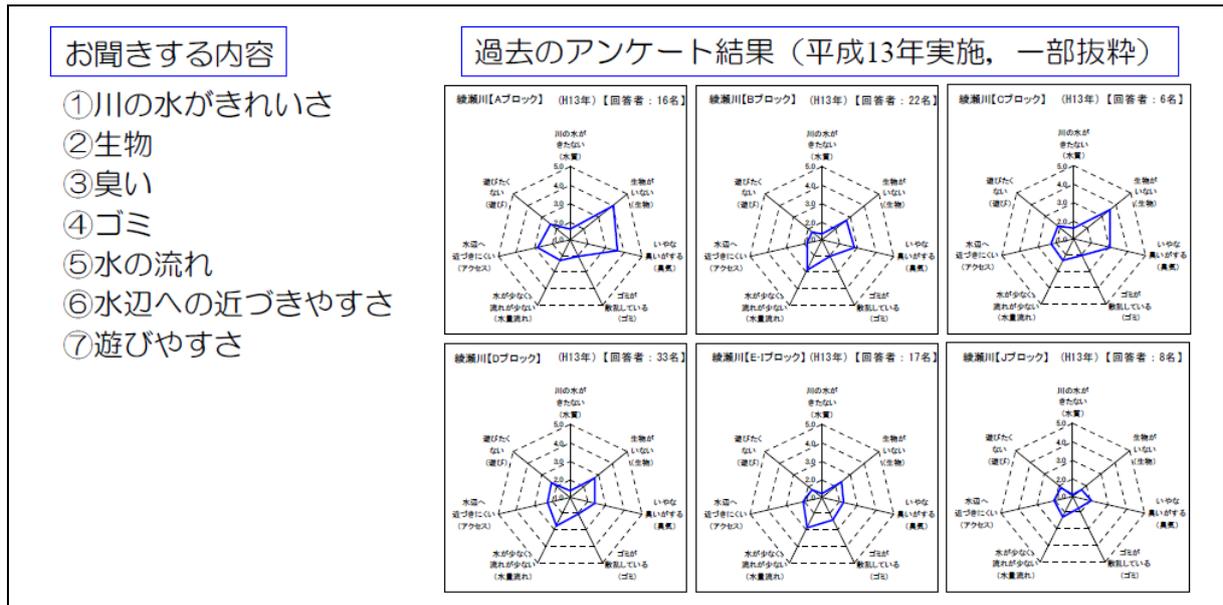


図 4.43 平成13年度のアンケート結果（綾瀬川流域に対するイメージを5段階評価したもの）

表 4.29 流域住民アンケートの概要

	清流ルネッサンスⅡ計画策定時調査	平成22年調査
対象範囲	綾瀬川流域	綾瀬川流域
調査方法	戸別訪問方式 (直接手渡し、後日直接回収)	インターネット方式
調査時期	平成13年12月	平成22年11月予定
対象者の抽出方法	本川および支川の近傍の家庭を無作為抽出し訪問	流域内のリサーチモニター登録者
回収数	240票 (各ブロック20ないし30票、9ブロックで計240票の回収数を設定)	495票 (各ブロック50票、9ブロックで計450票の回収数を設定)

2) 平成 22 年アンケート調査票の構成

水環境の改善状況ならびに水環境目標の達成度合いを評価するため、過年度のアンケート調査票を基本にしながら、平成 22 年は表 4.30 に示す設問を構成した。

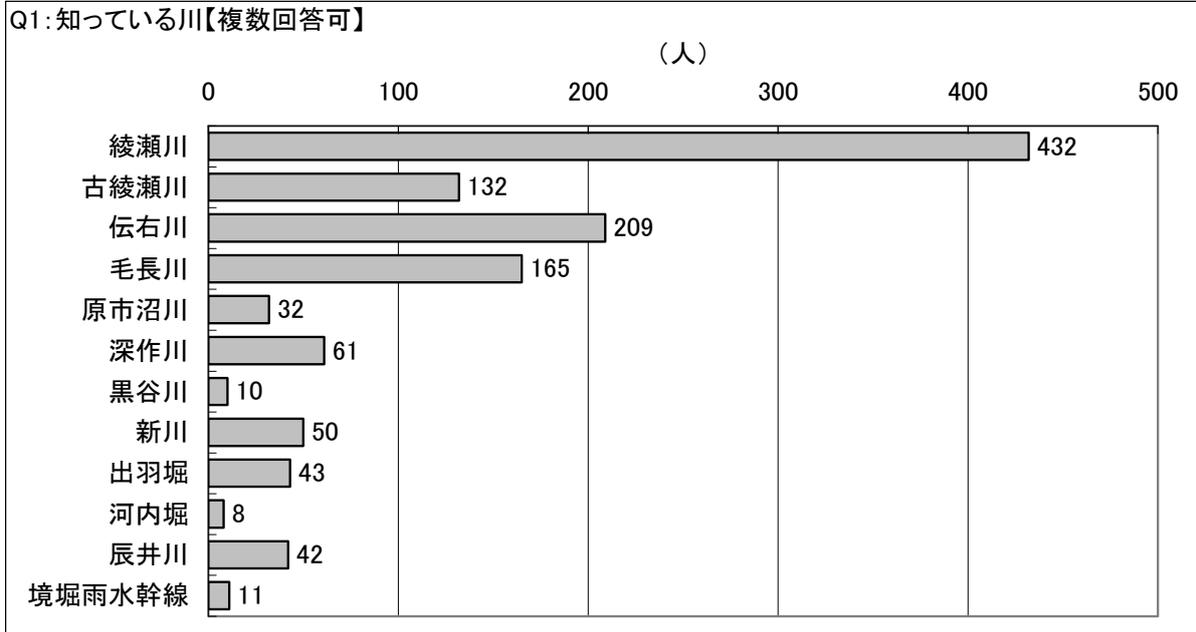
表 4.30 アンケート設問の構成

設問の意図	アンケートの設問	設問設定		備考
		H13	H22	
回答者属性の把握	性別	●		インターネット調査のため不要
	年齢	●		インターネット調査のため不要
	職業	●		省略
	お住まいは？地図におおよその場所を記入してください	●	● (問9)	郵便番号の記入で対応
認知度の把握	綾瀬川及び支川を知っていますか	●	● (問1)	認知度を把握するために設定
	その中で最も良く知っている川はどれですか	●	● (問2(1))	問2(1)で選択された川について問3～問7は回答する (※問2(1)で選んだ川が複数のブロックを流れる場合は、問2(2)で最も知っているブロックを回答する)
	その中で最も知っている場所が該当するブロックはどれですか		● (問2(2))	
利用度の把握	綾瀬川及び支川に行ったことあるいは見かけたことがありますか(複数回答可)	●	● (問3)	問4(利用目的の把握)の前段となる設問
利用目的	川で何をするか、どんなときに見かけるか(複数回答可)	●	● (問4)	利用目的を把握するため設定 ※過年度の結果と比較するため過年度と同じ設問内容で実施。
利用場所の把握	よく行く場所、よく見かける場所はどこか(地図へ記入)	●		省略
改善状況の把握 (イメージの把握)	その川についてどのようなイメージを持っていますか。 ①～⑧それぞれの内容について該当する番号を選んでください (①川の水がきたない、②生き物がいない、③いやな臭いがする、④ゴミが散乱している、⑤水が少なく、流れが少ない、⑥水辺へ近づきにくい、⑦遊びたくない、⑧その他(自由記入))	●	● (問5)	改善状況を把握するため、過年度と同様の設問を設定 (⑧その他は省略)
水環境の改善についての意見収集	その川がきれいになったと感じるためには現状(①～⑦)がどのように変わればよいと思いますか (現状:①川の水が汚い、②生き物がいない、③いやな臭いがする、④ゴミが散乱している、⑤水が少なく流れがない、⑥水辺へ近づきにくい、⑦遊びたくない)	●		今回のアンケートは水環境目標を評価することが目的であるため省略。
	その場所をよくするために行政、他関連機関に何をしたいと思いませんか？実施したらよいと思う順番を()内に記入してください	●		
	その場所をよくするためにあなたができること、してもよいと思うことは何ですか？	●		
	将来、その川がどのような川になって欲しいと思いませんか？(複数回答可)	●		
河川美化活動への参加意欲の把握	今後、自治会・広報等で河川清掃、水環境モニターの公募があった場合、どのようにしたいと思いませんか	●		
キャッチフレーズの募集	キャッチフレーズを募集	●		省略
自由意見の収集	自由意見	●	● (問10)	住民がどのような利用をしたいか、どのように良くしていきたいか等を問う
水環境目標の評価 (現状の評価)	不快な臭いを感じることはありますか	●	● (問7)	今回のアンケートでは水環境目標を評価するため以下について問う。 (評価してもらう項目:①透明感、②臭気、③水の色、④川のゴミ、⑤水辺の利用、⑥水辺の風景) ※生物も水環境目標の項目に挙げられているが、生物の評価はインターネット調査でなく生物調査の結果より別途評価する。
	水の色をどのように感じますか	●		
	散乱ごみ・水に浮いているごみの量についてどのように感じますか	●		
	不法投棄についてどのように感じますか	●		
バイアスの除外	水環境目標に掲げられているあるべき姿の達成状況をどのように感じますか		● (問6)	最も知っている川に該当するブロックに応じて「あるべき姿1」の設問が変わる
	(インターネット調査のため必要な設問)		● (問8)	インターネット調査のため必要な設問

3) 集計結果

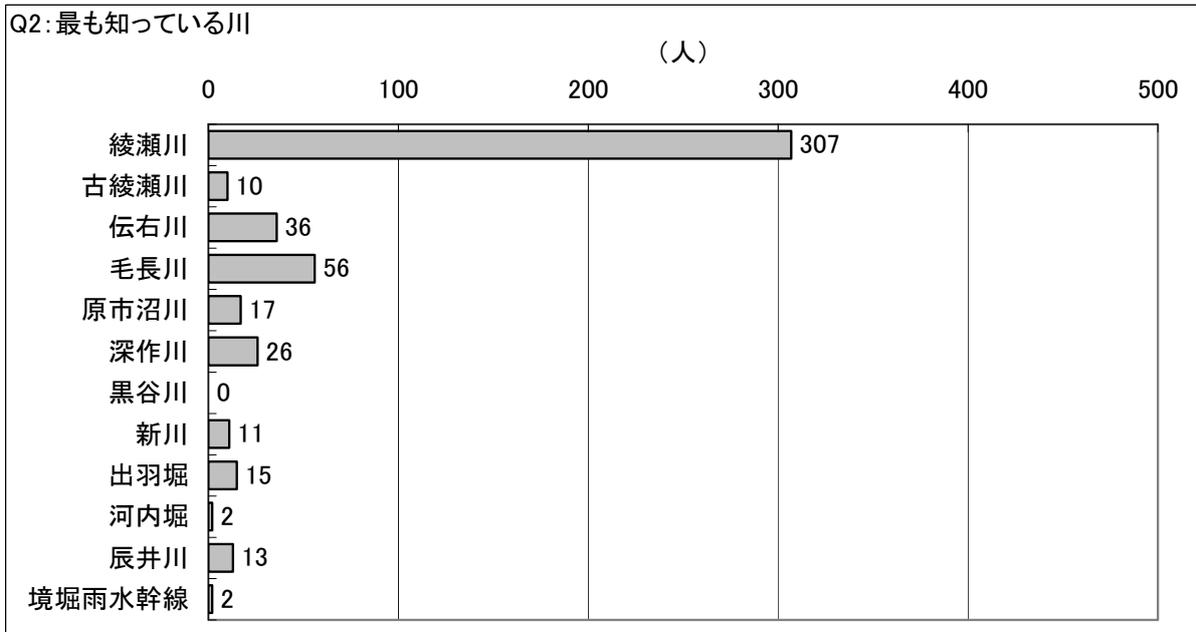
Q1: 綾瀬川及び支川の中で知っている川を教えてください。当てはまるものを全て選んでください。

- 「綾瀬川」が最も多く「伝右川」「毛長川」「古綾瀬川」が続いている。



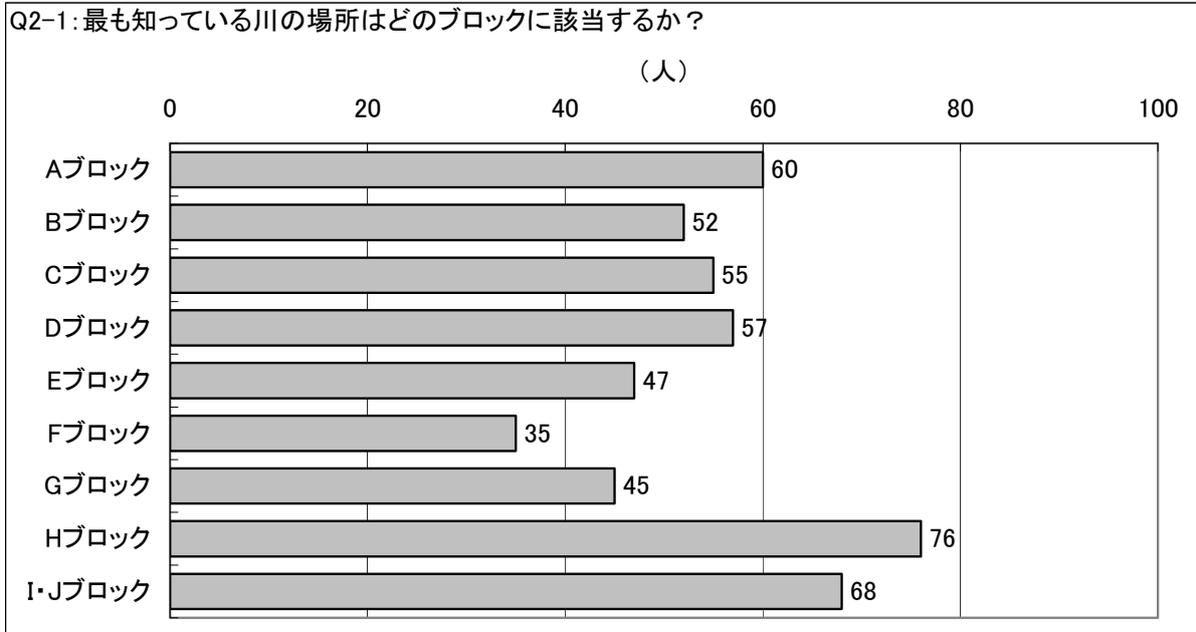
Q2: Q1 で選んだ中で最も知っている川は、どれですか。当てはまるものを一つ選んでください。

- 「綾瀬川」の認知度が最も高い。



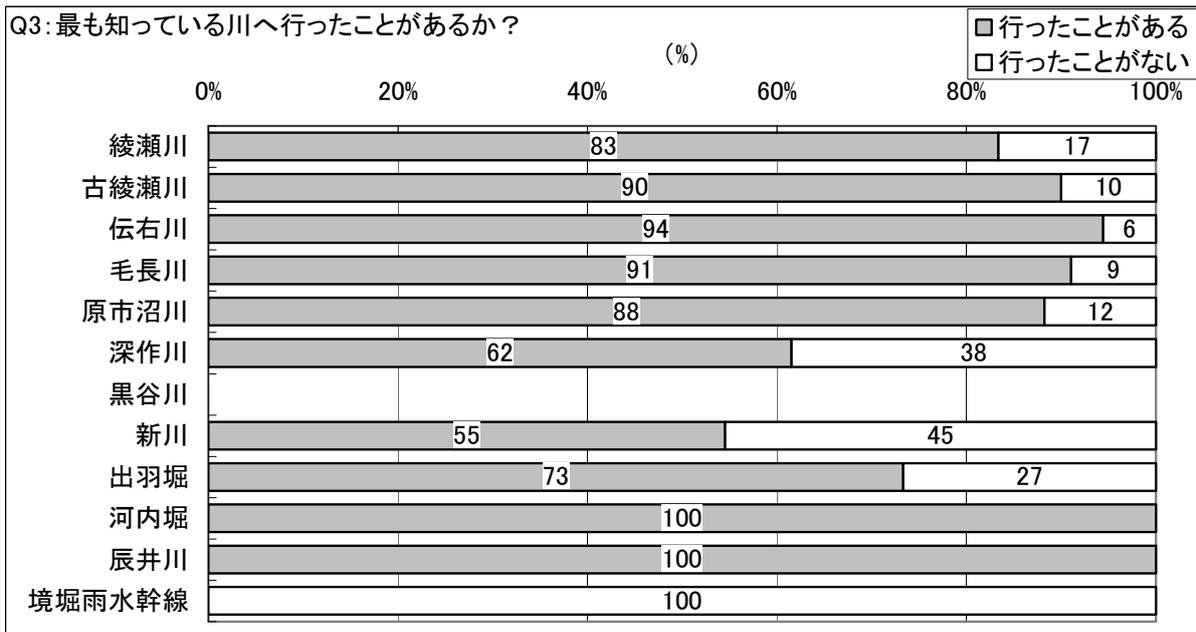
Q2-1:「Q2 で回答した選択肢」の最も知っている場所は下の図のどのブロックに該当しますか。当てはまるものを一つ選んでください。

- 最も知っている川に関係なく、最も知っている場所として全ブロックからの回答を得ることができた。



Q3:「Q2 で回答した選択肢」へ行ったことがありますか。当てはまるものを一つ選んでください。

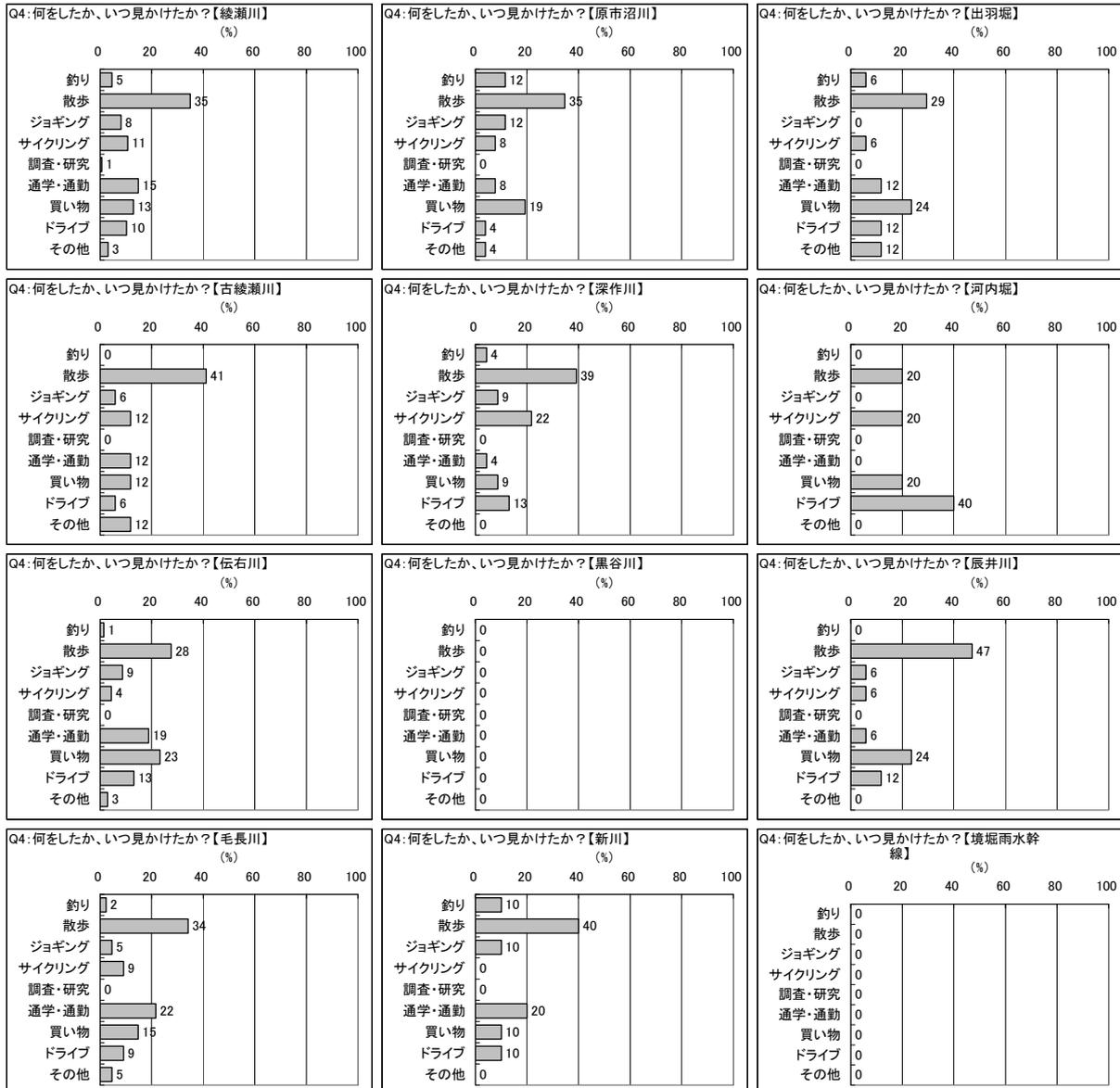
- 最も知っていると答えた川には、大半が「行ったことがある」ようである。



※「黒谷川」はQ2の最も知っている川で回答なし

Q4:「Q2 で回答した選択肢」に行って何をしましたか。あるいはどんなときに「Q2 で回答した選択肢」を見かけましたか。当てはまるものを全て選んでください。その他の場合、()の中に具体的にご記入ください。

- ほとんどの川で「散歩」が最も多く、「買い物」が次いでいる。「通勤・通学」で利用（通過）する人も多いようである。



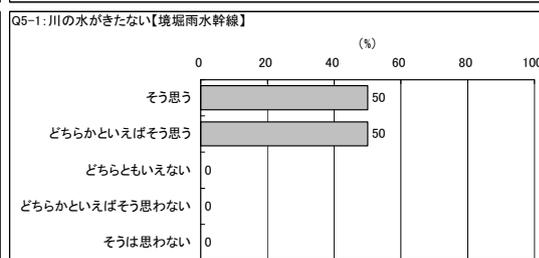
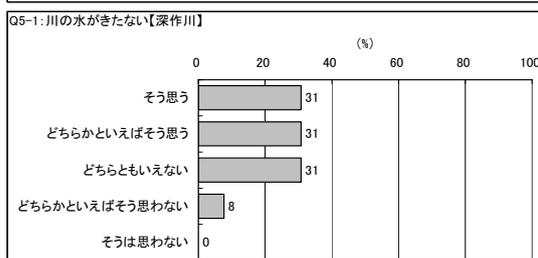
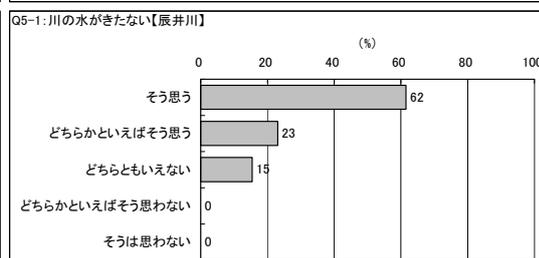
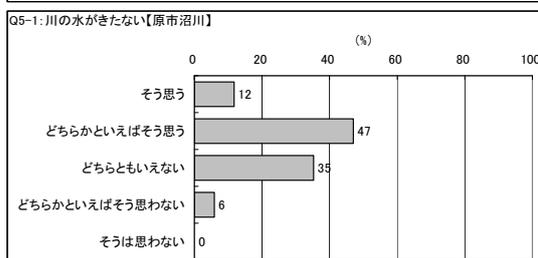
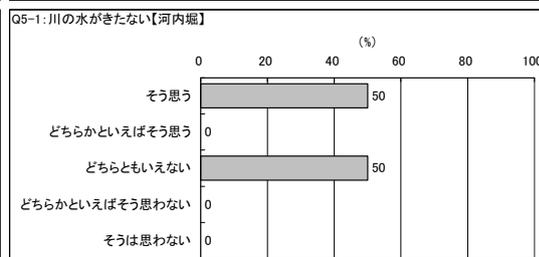
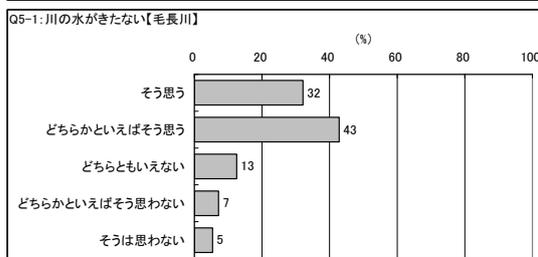
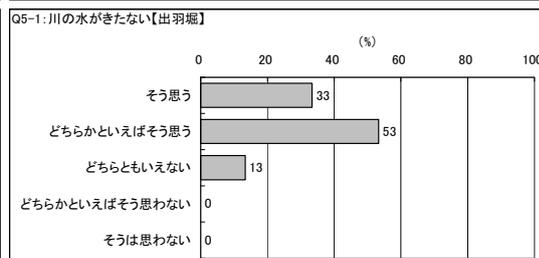
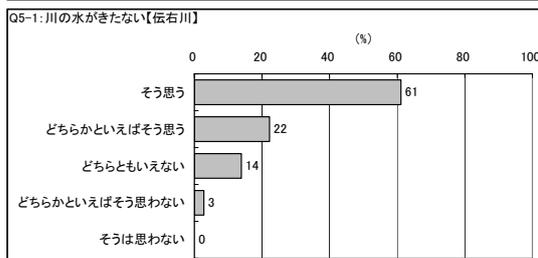
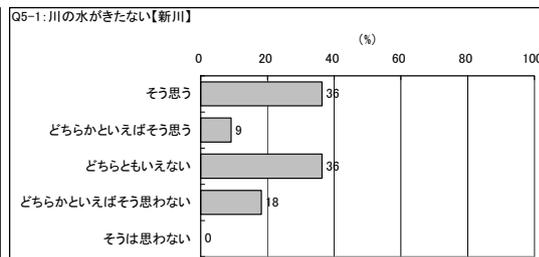
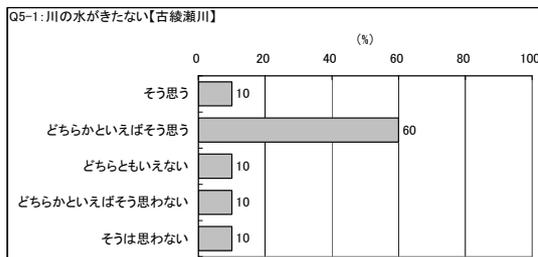
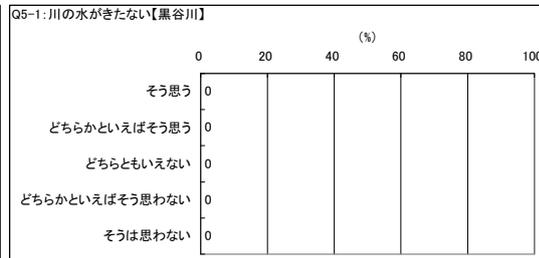
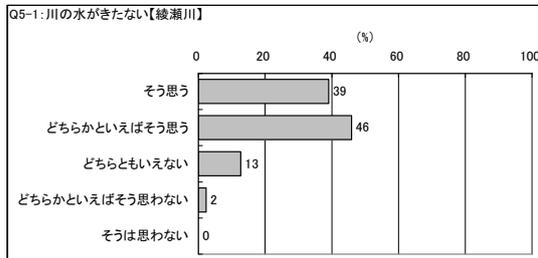
【その他の回答】

- ・ 家の近くに川がある
- ・ 花見、花火大会などのイベント
- ・ 大曽根ビオトープの維持管理

Q5:「Q2 で回答した選択肢」についてどのようなイメージを持っていますか？

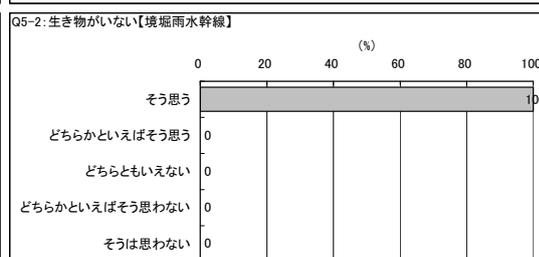
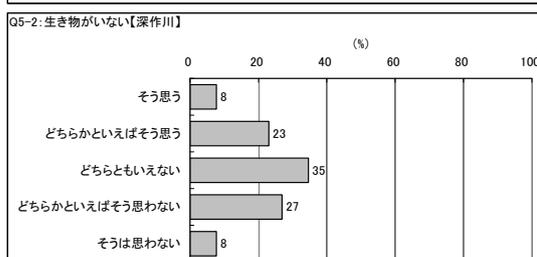
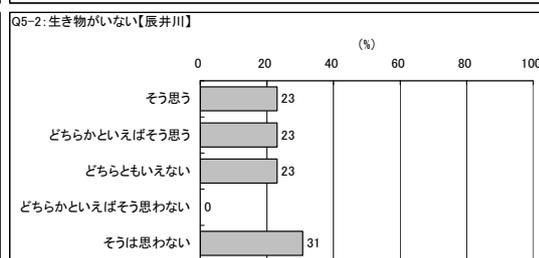
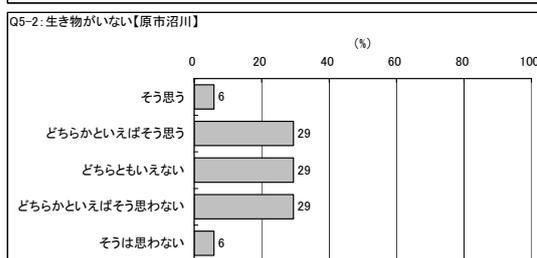
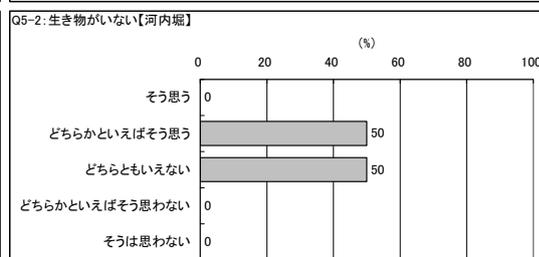
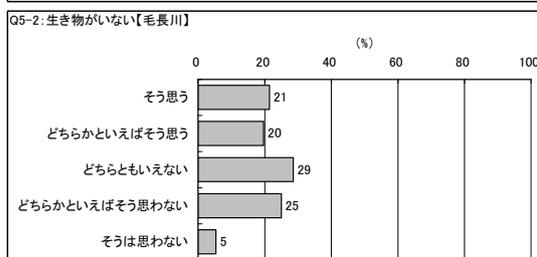
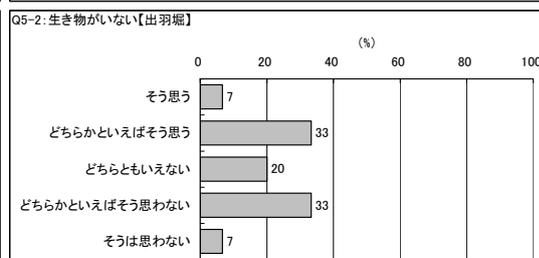
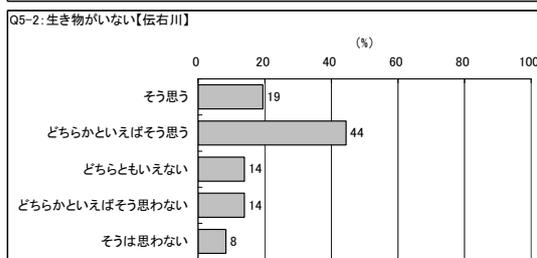
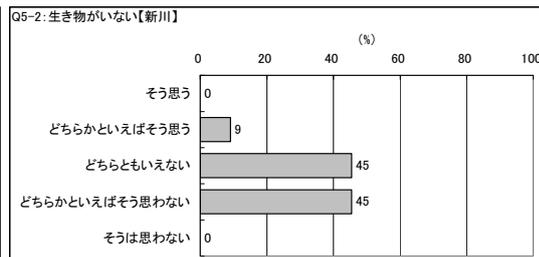
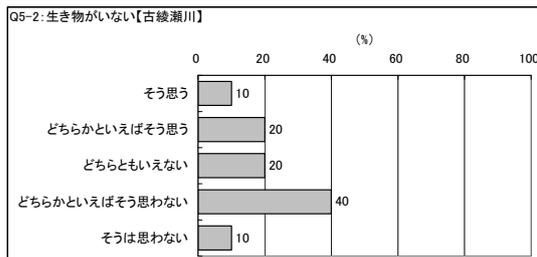
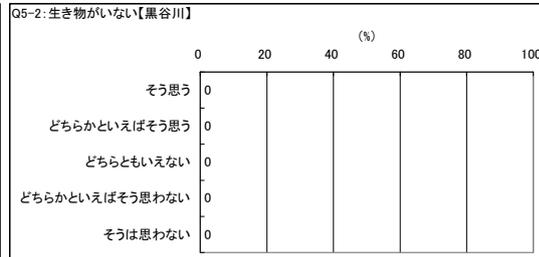
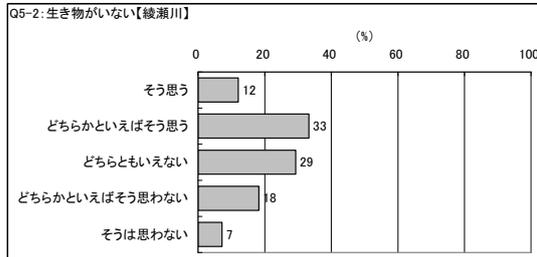
Q5-1: 川の水がきたない

● 川の水をきたないと思っている人の割合が高い。



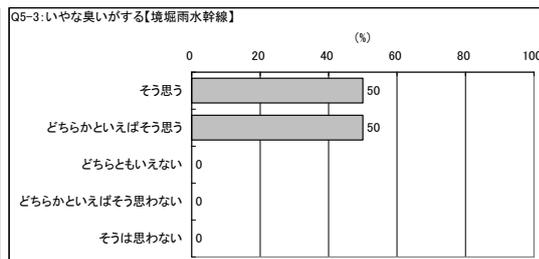
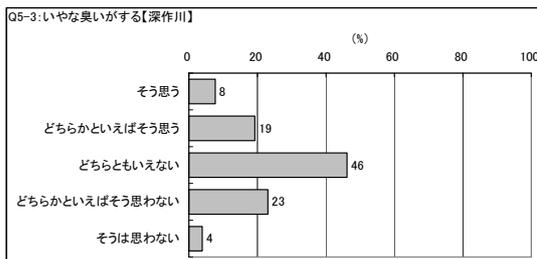
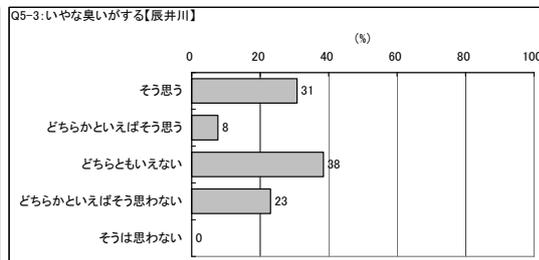
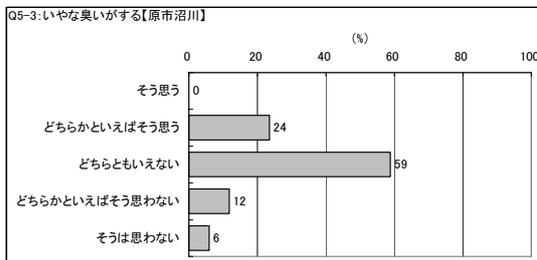
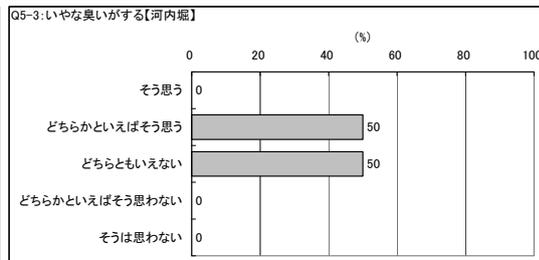
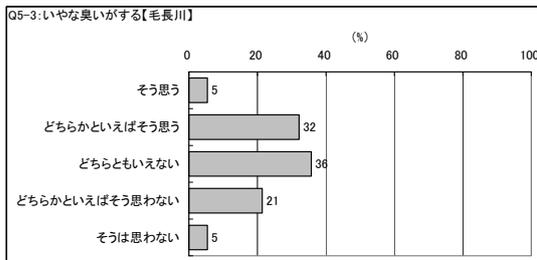
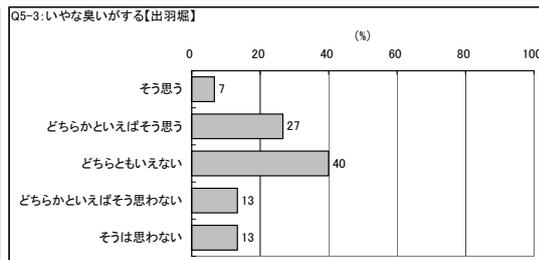
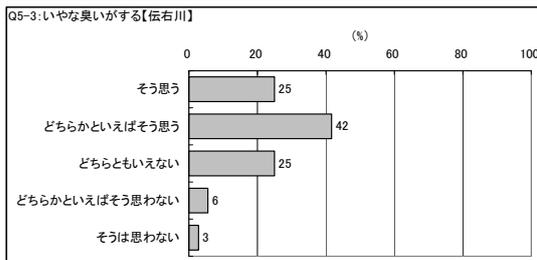
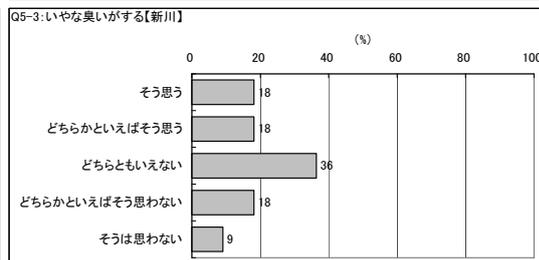
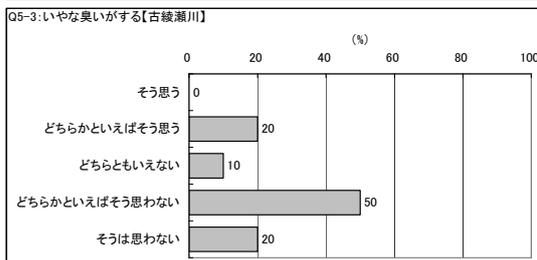
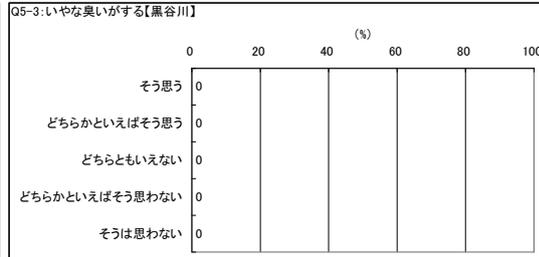
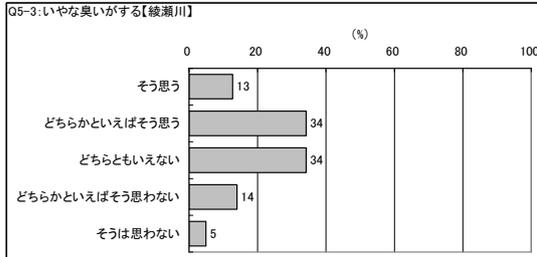
Q5-2：生物がいない

● 肯定でも否定でもない意見が多い。



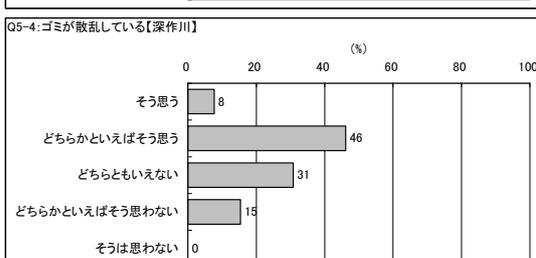
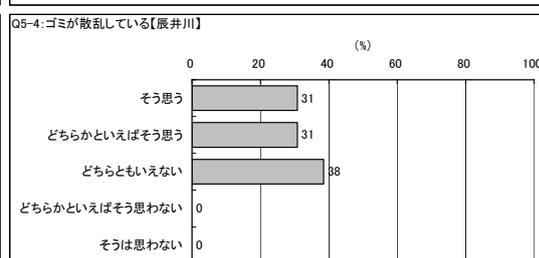
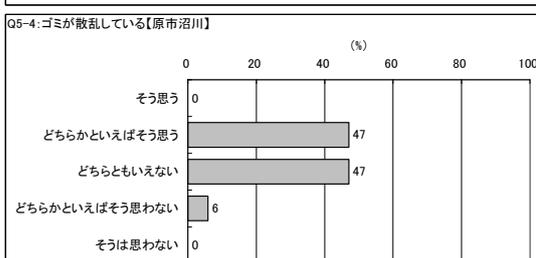
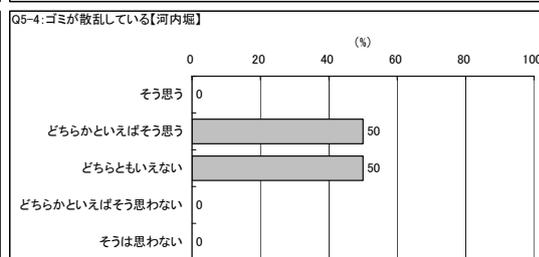
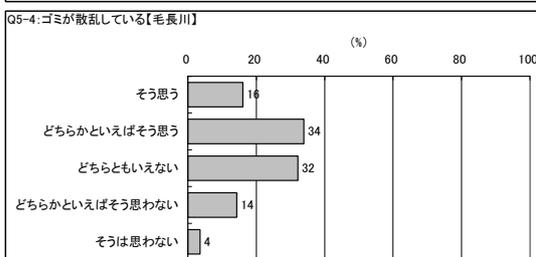
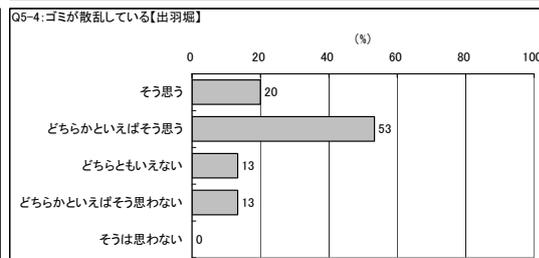
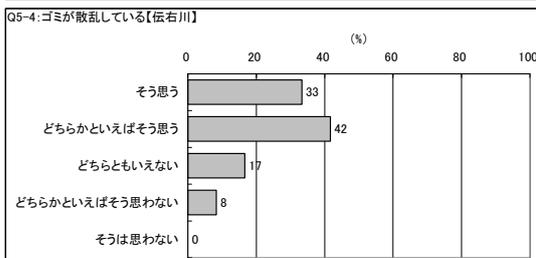
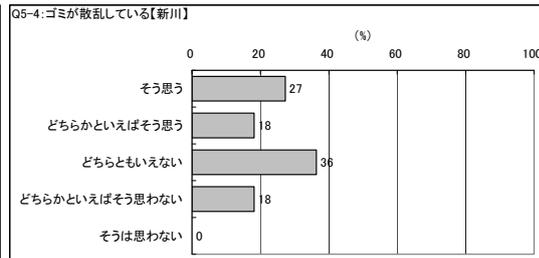
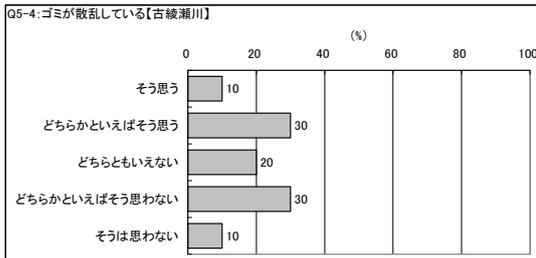
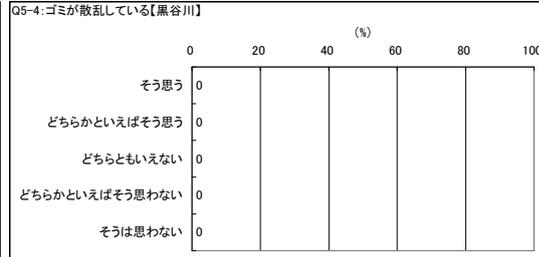
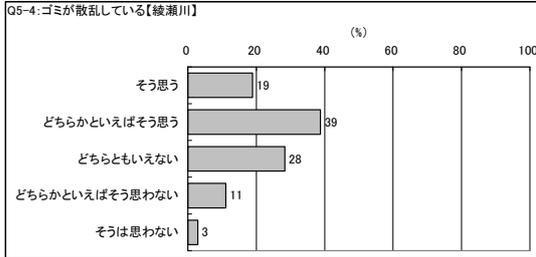
Q5-3:いやな臭いがする

- 肯定でも否定でもない意見が多いが、伝右川、河内堀、境堀雨水幹線では臭いがすると思
う人の割合が高い。



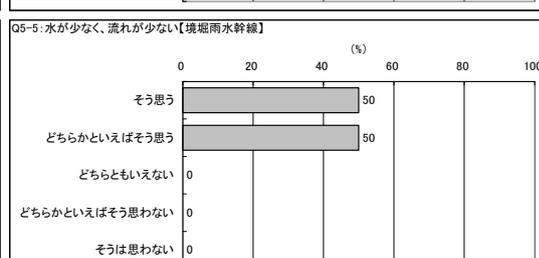
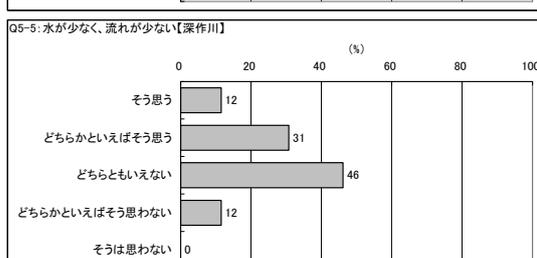
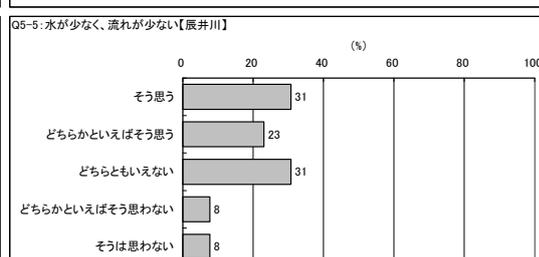
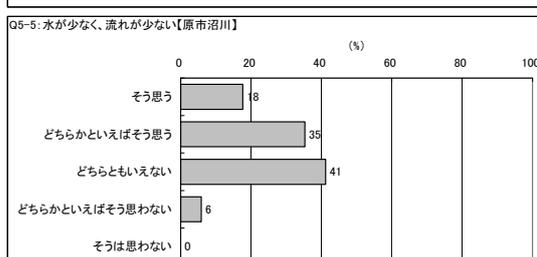
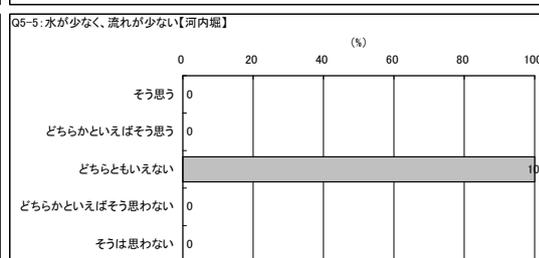
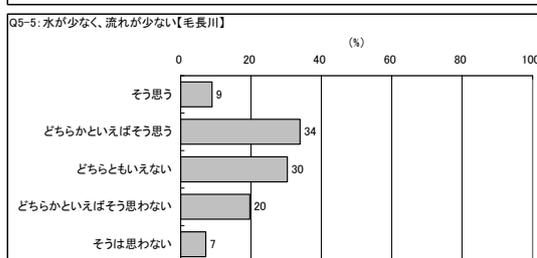
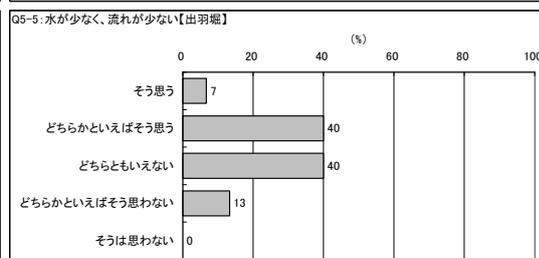
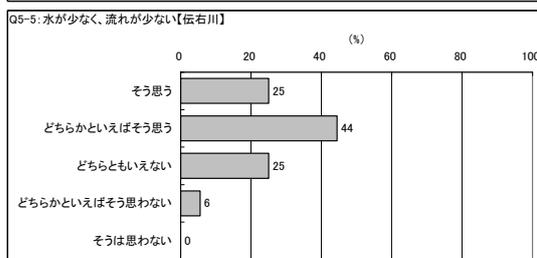
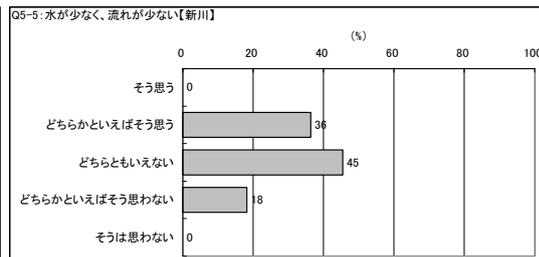
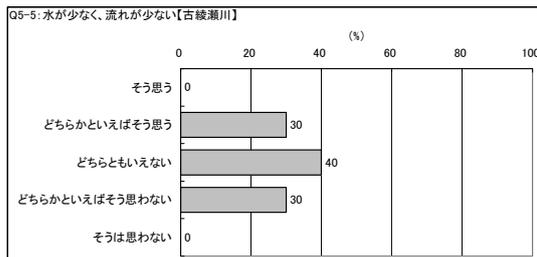
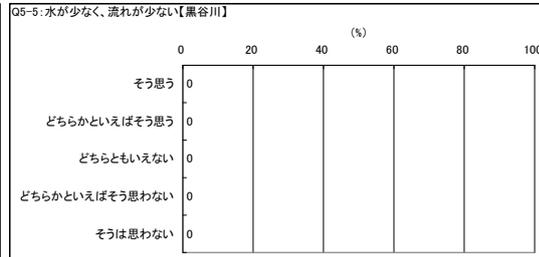
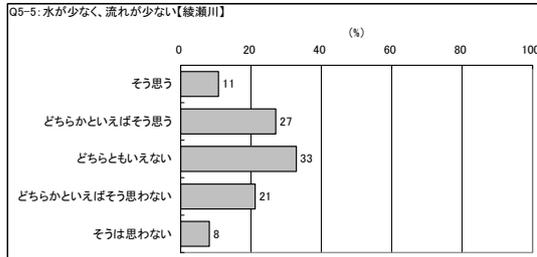
Q5-4: ゴミが散乱している

● ゴミが散乱していると思う人の割合が高い。



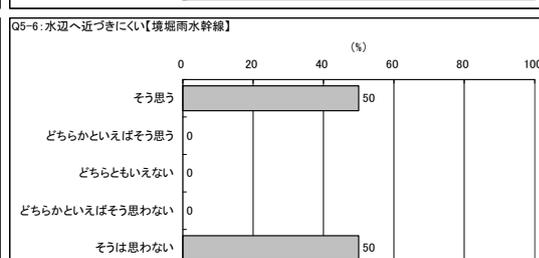
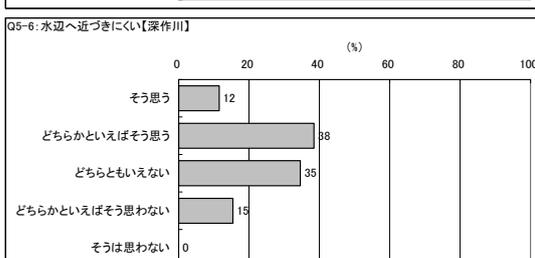
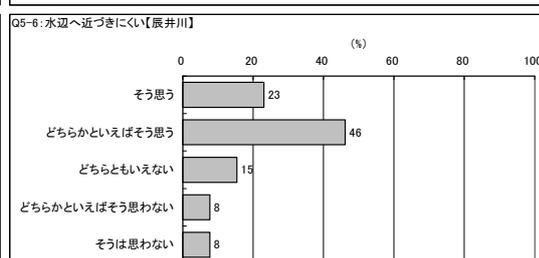
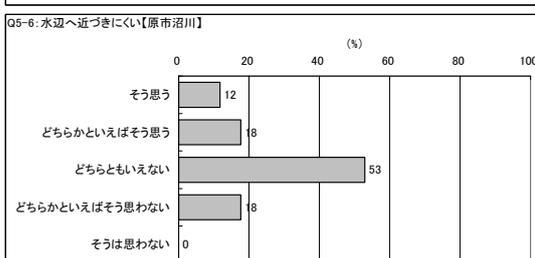
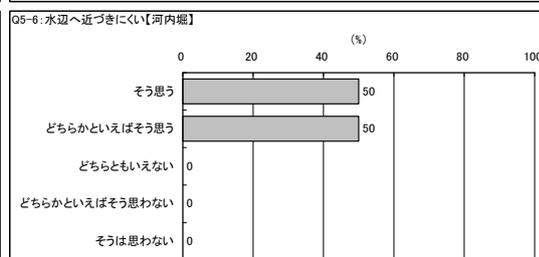
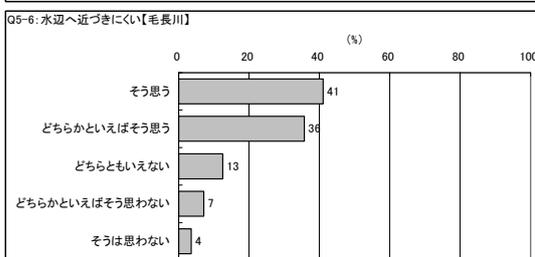
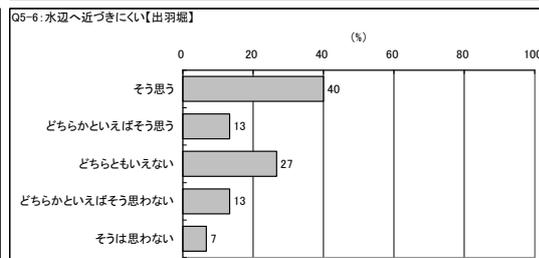
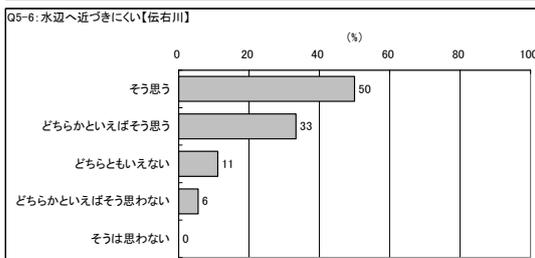
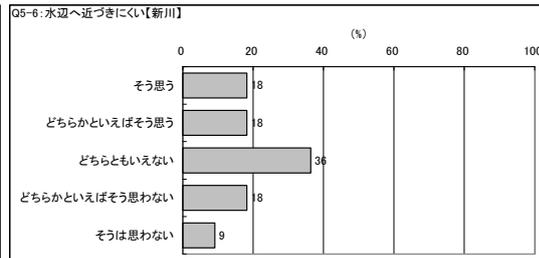
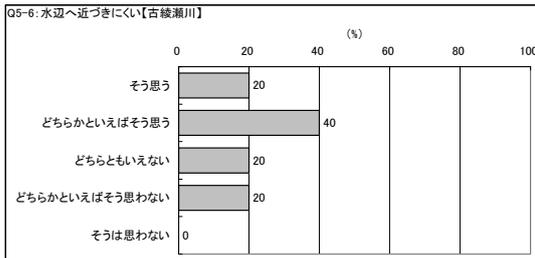
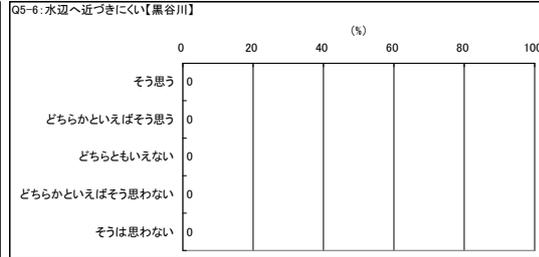
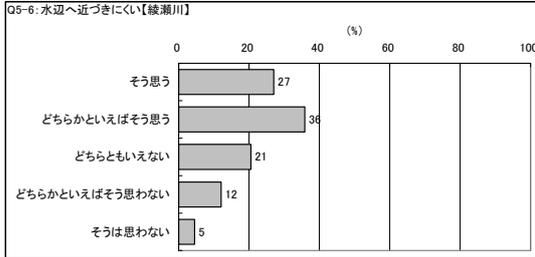
Q5-5：水が少なく、流れが少ない

● 伝右川、出羽堀、原市沼川、辰井川などでは流れが少ないと思う人の割合が高い。



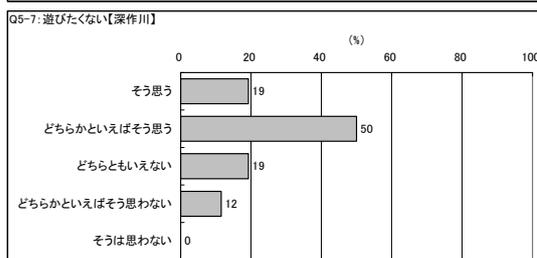
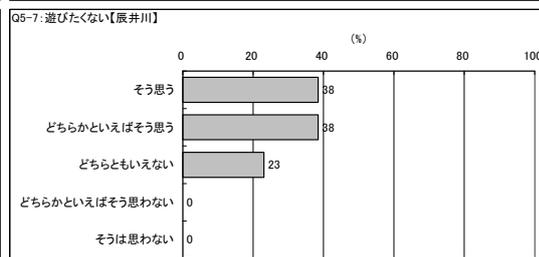
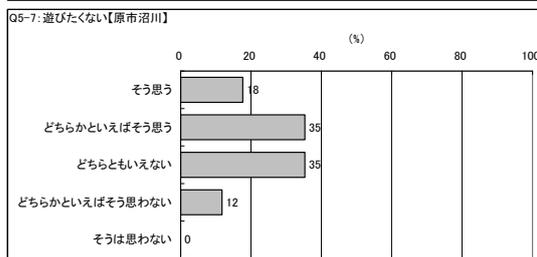
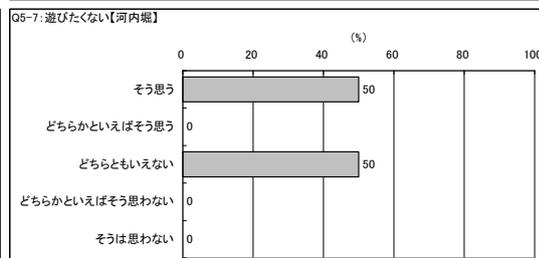
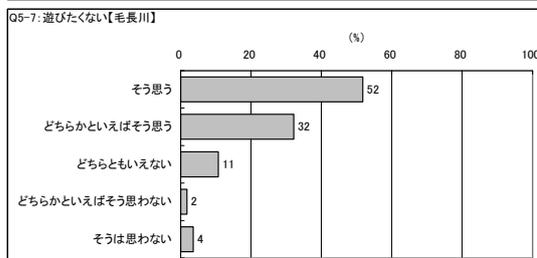
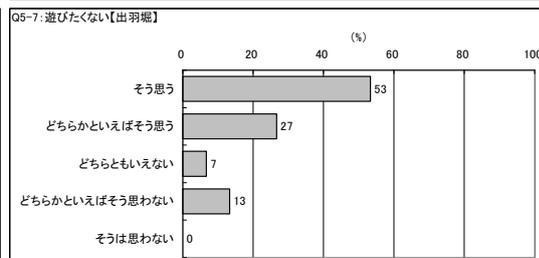
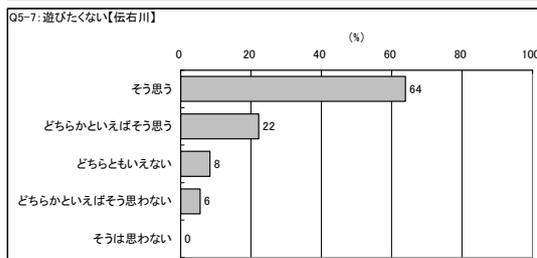
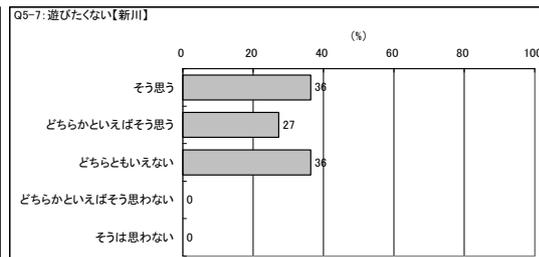
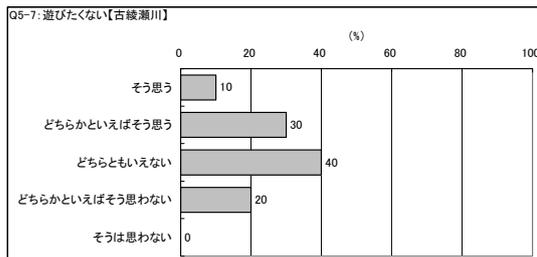
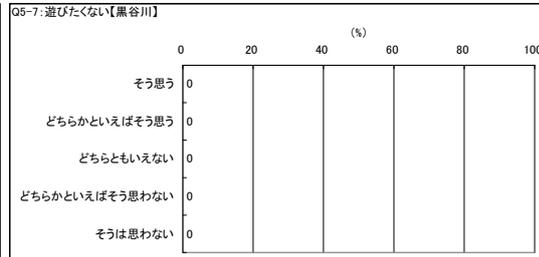
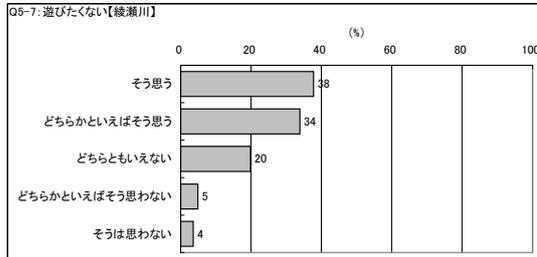
Q5-6: 水辺へ近づきにくい

● 大半の河川で水辺に近づきにくいと思っている人の割合が高い。



Q5-7：遊びたくない

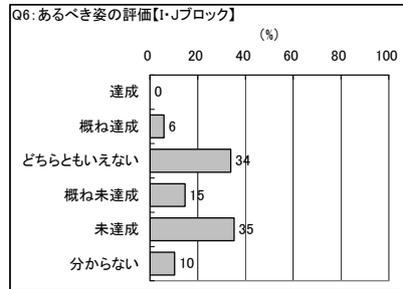
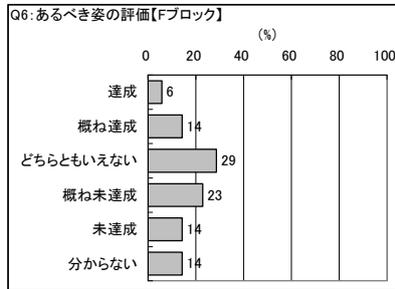
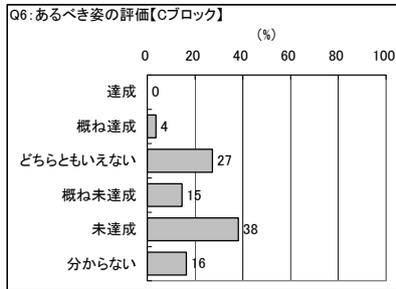
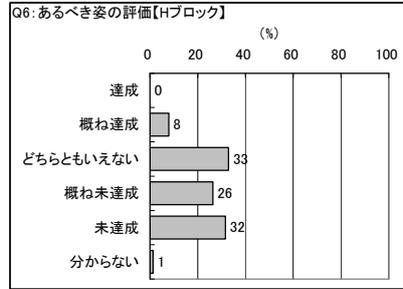
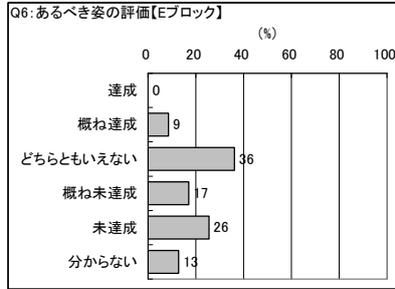
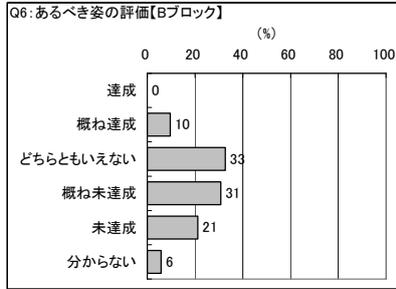
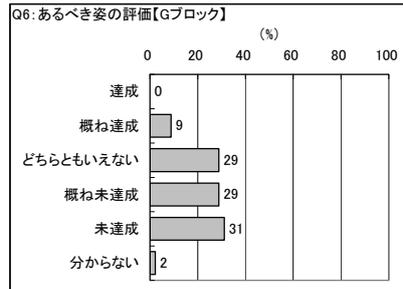
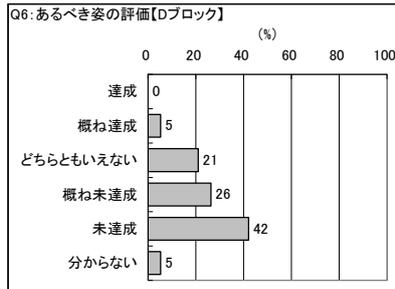
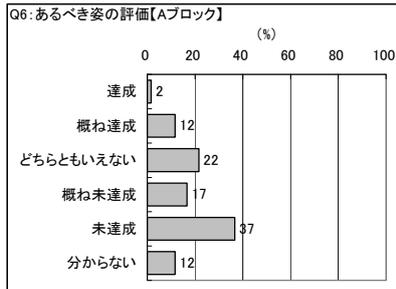
● 大半の河川で遊びたくないと思っている人の割合が高い。



Q6.: 水環境目標として掲げている下記のあるべき姿を「Q2 で回答した選択肢」について評価した場合、最もあてはまるものはどれですか。当てはまるものを一つ選んでください。

- ブロックごとに設定されている水環境のあるべき姿に対して「未達成」という評価が多い
- 水環境の満足度は十分ではなく継続した取り組みによる水環境の改善・維持が重要である

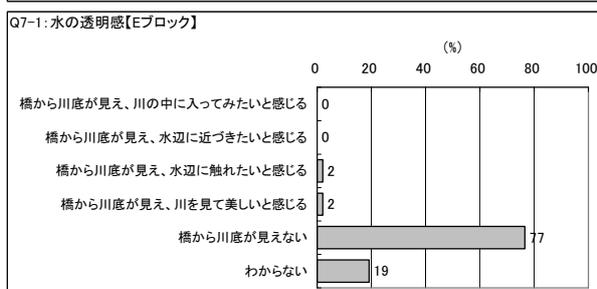
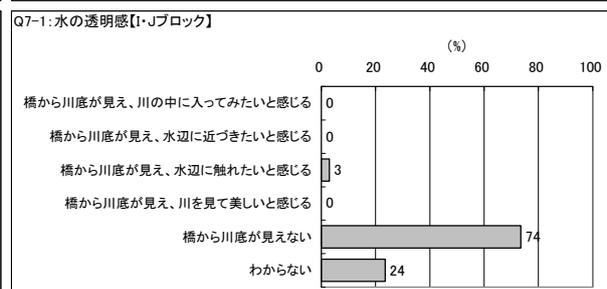
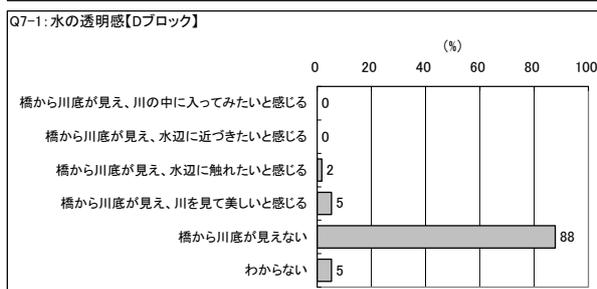
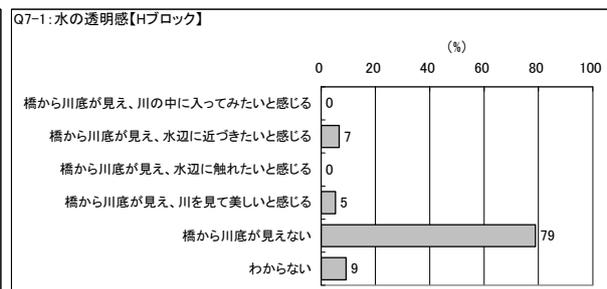
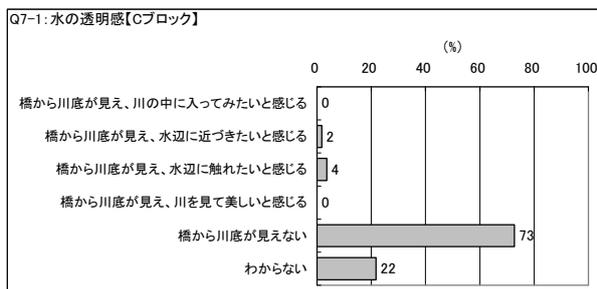
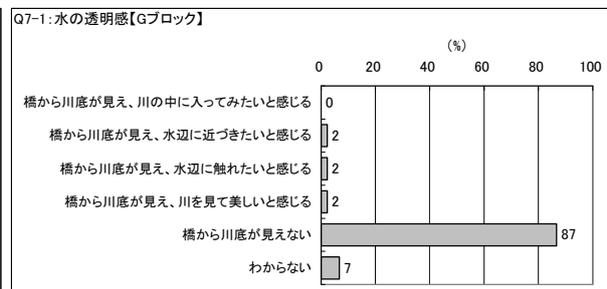
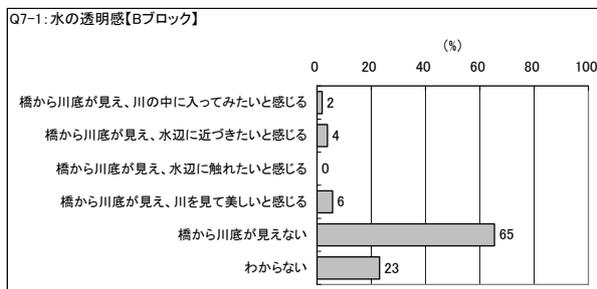
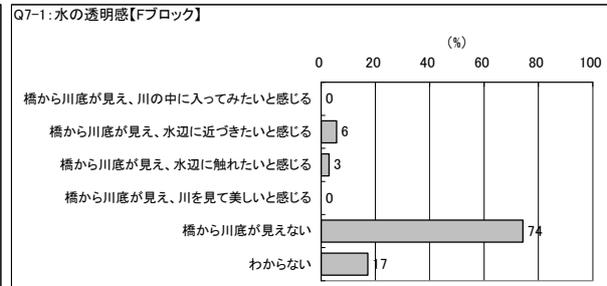
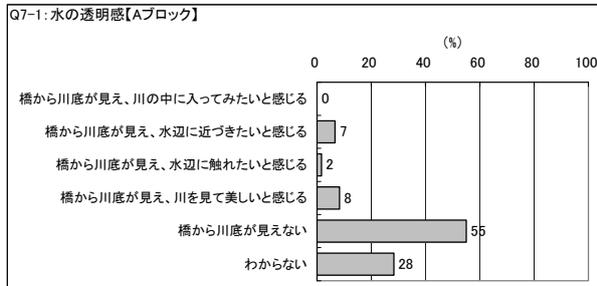
ブロック	あるべき姿
A	田園的な風景の中で水辺に親しめ、多様な生き物が生息成育可能な水環境を保全するため、春の小川の姿を目標とする。
B	都市と田園が共生した空間、清らかな流れを回復し、水辺を育む水環境を確保していくため、さらさらと流れる水の姿を目標とする。
C	市街地の中で河川の自然的な景観を有する空間、水に親しめ、水辺を楽しむ水環境を実現していくため、透明感のある水の姿を目標とする。
D	綾瀬川の水の歴史を有するシンボル空間、かつての水のイメージを改善し、水辺を活かした都市再生を図るため、水に親しむことのできる姿を目標とする。
E	市街地の中で唯一残された自然空間、地域の身近な水辺環境を意識できる水環境を回復するため、透明感のある水の姿を目標とする。
F	市街化が進んでいる都市内にある水辺空間、身近に感じられる良好な水環境を回復するため、水の色がきれいな姿を目標とする。
G	都市化が進展する一方で田園風景が残る水空間、街の中の河川や水路の再生を図り、良好な水環境を伝えていくため、美しい水辺の本来の姿を目標とする。
H	都市化の中で水路と化した水辺空間、沿川の賑わいを回復し、健康的な水辺環境を再生するため、水の流れのあるきれいな姿を目標とする。
I・J	感潮区間で水辺に近づけない空間、水辺を意識した沿川の地域づくりによる水空間の再生を図るため、人々が集う空間となる姿を目標とする。



Q7: 下記の Q7-1～Q7-6 を「Q2 で回答した選択肢」について評価した場合、最もあてはまるものはどれですか。当てはまるものを一つ選んでください。

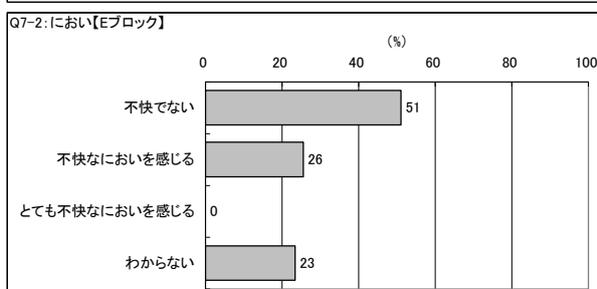
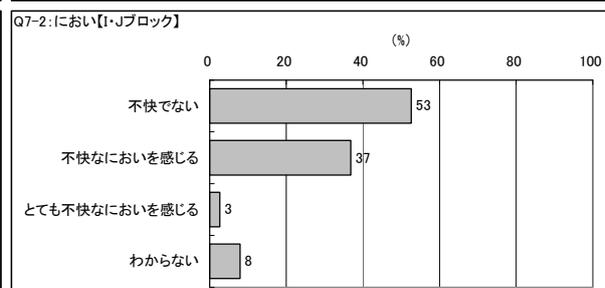
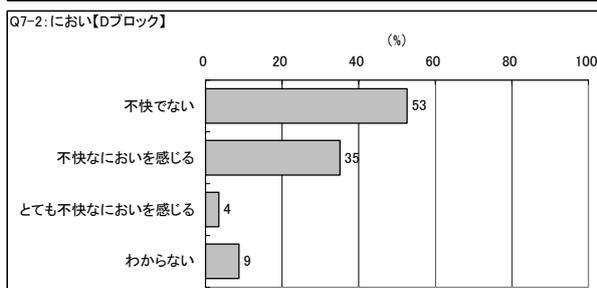
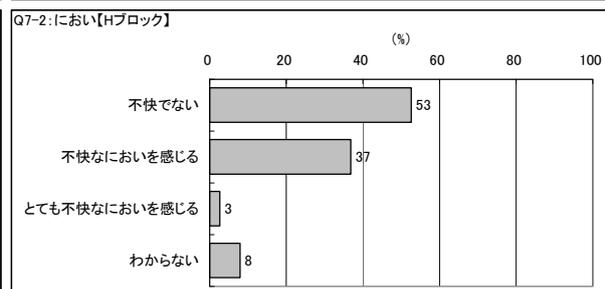
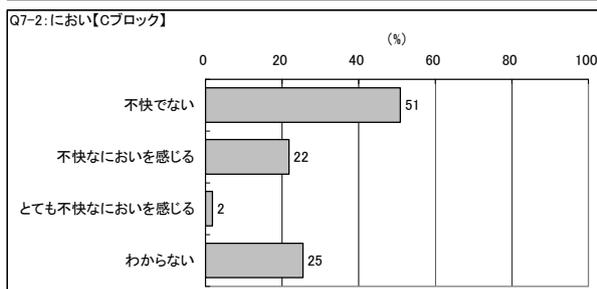
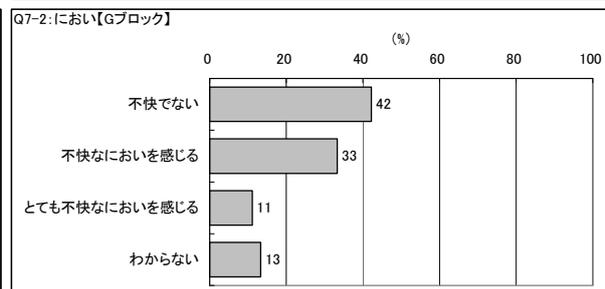
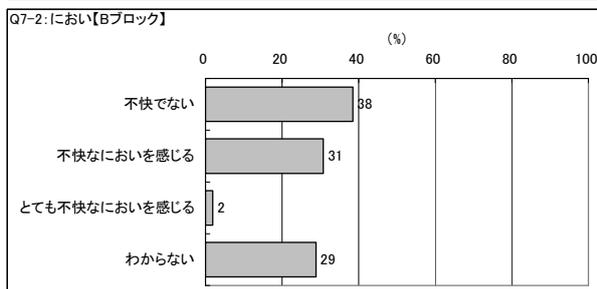
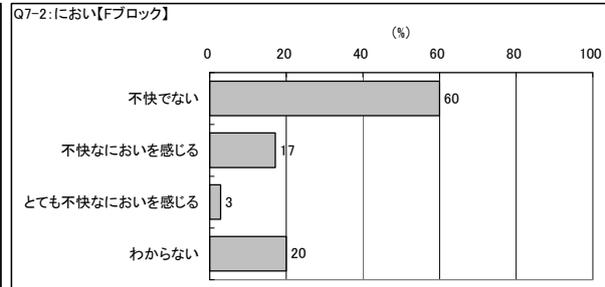
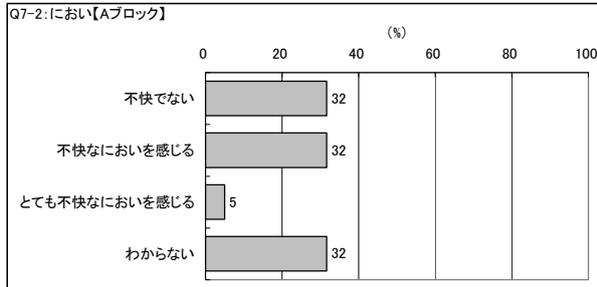
Q7-1: 水の透明感

● 全てのブロックで川底がみえないと思っている人の割合が高い。



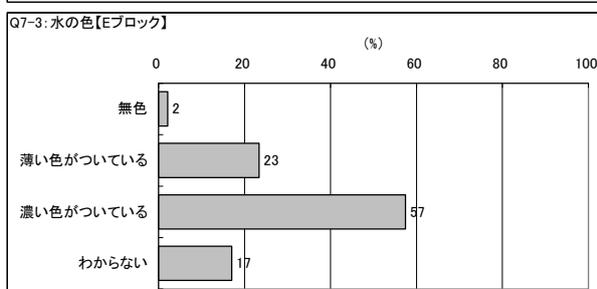
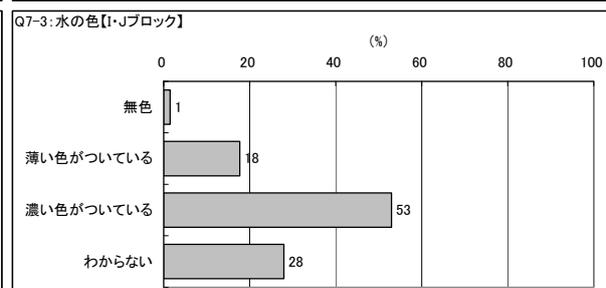
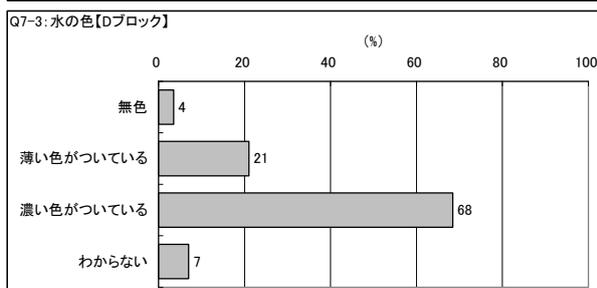
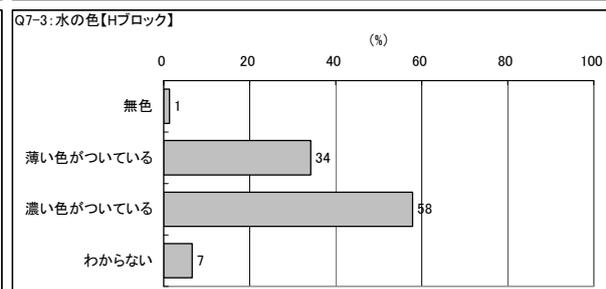
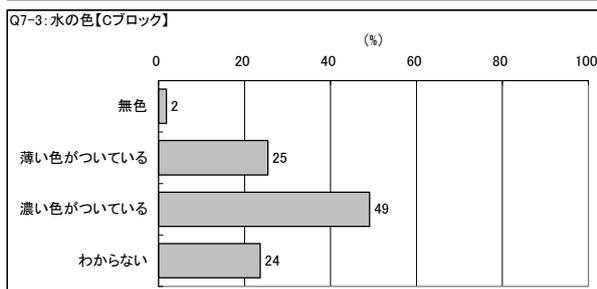
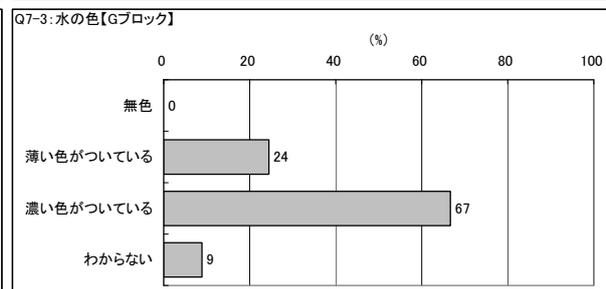
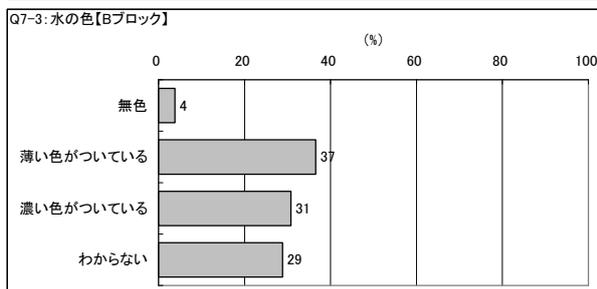
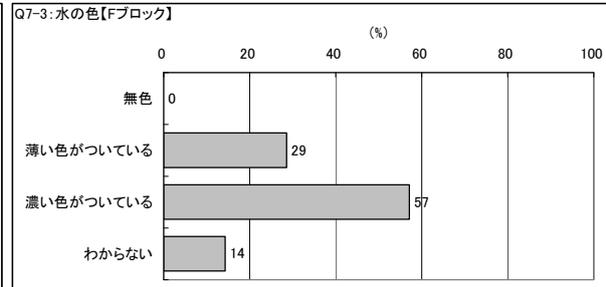
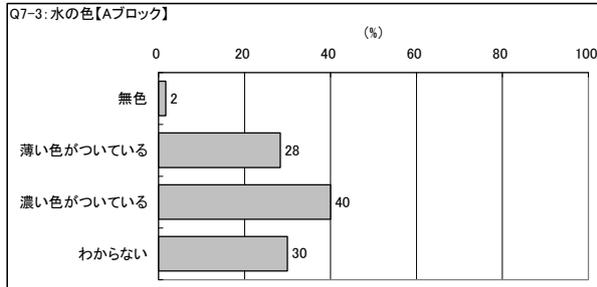
Q7-2:におい

● 全てのブロックで不快でないの割合が最も高い。



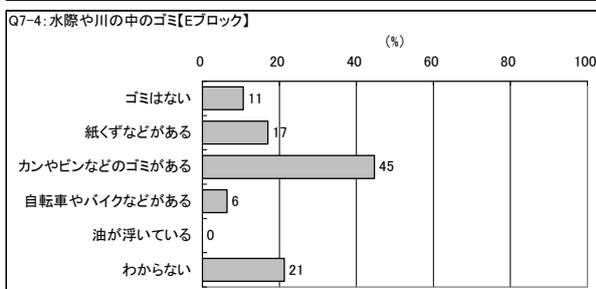
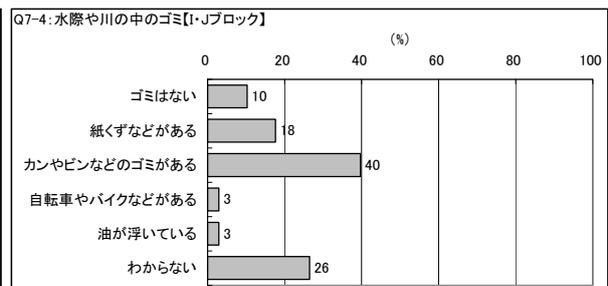
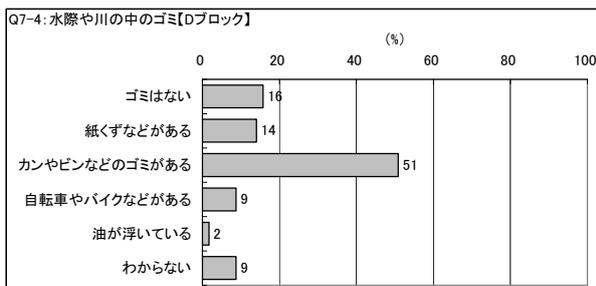
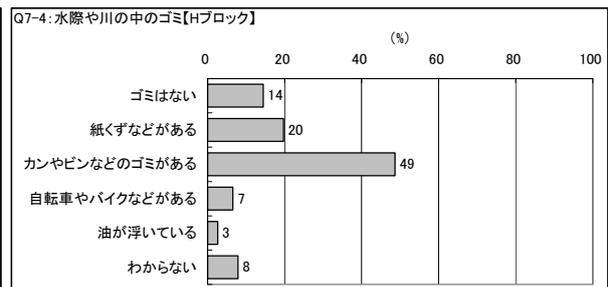
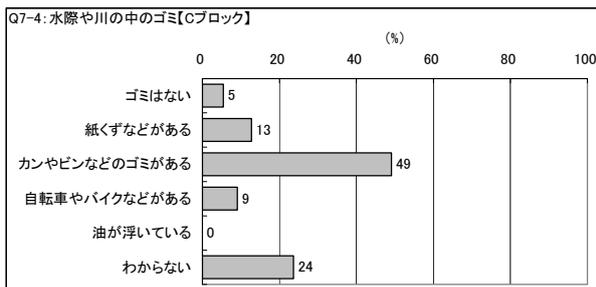
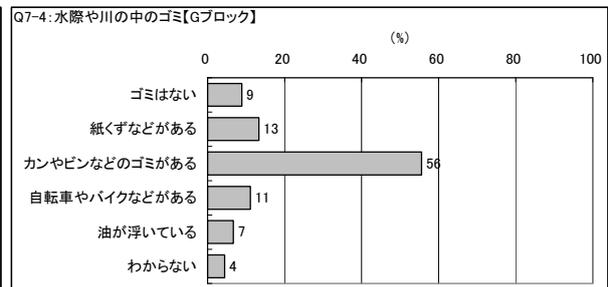
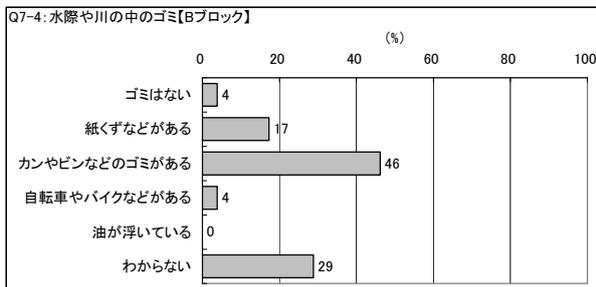
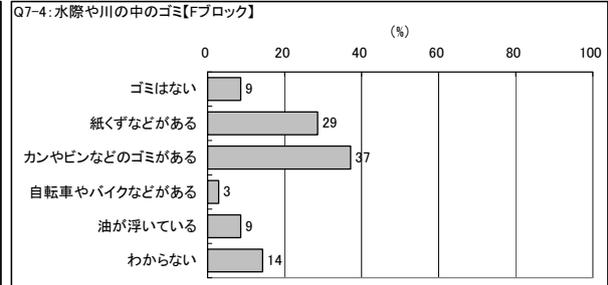
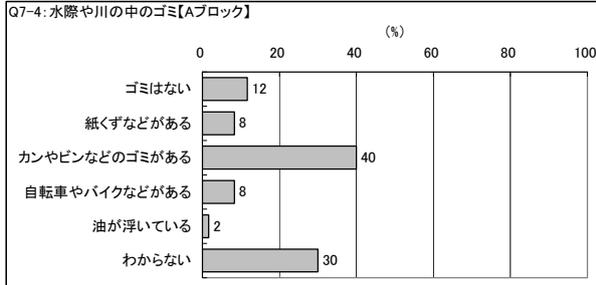
Q7-3:水の色

● 全てのブロックで濃い色がついているの割合が最も高い。



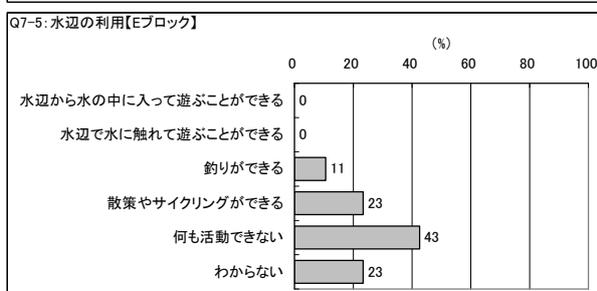
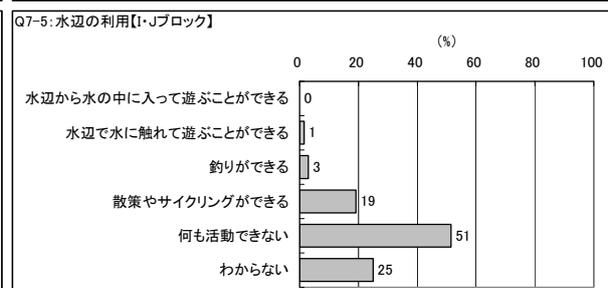
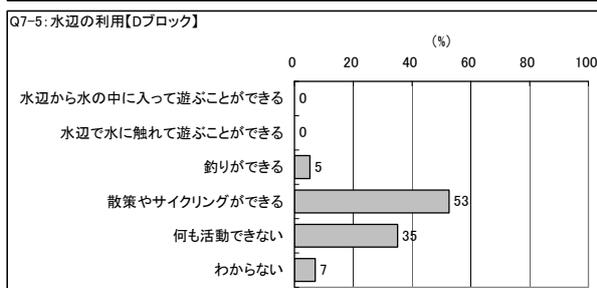
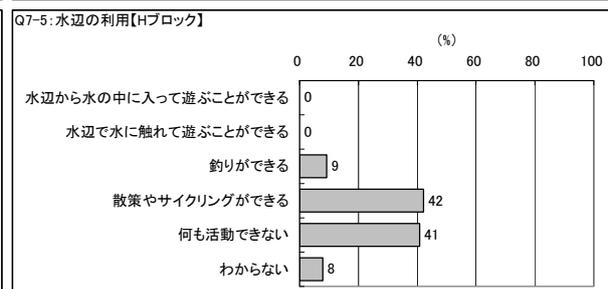
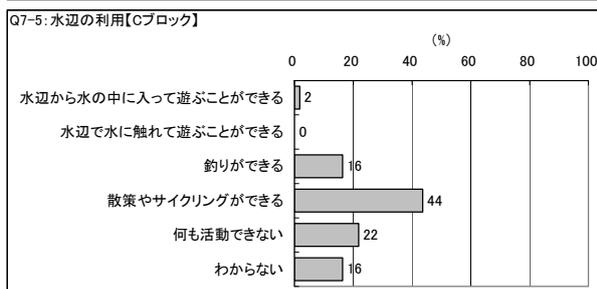
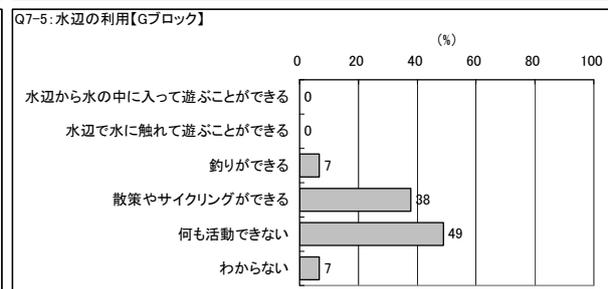
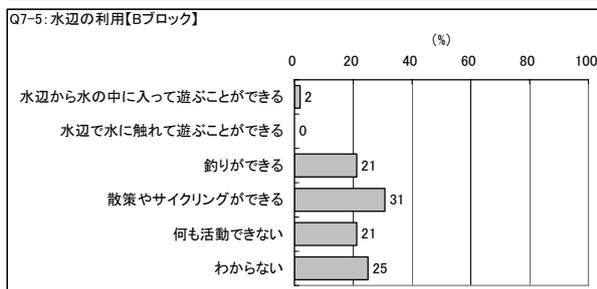
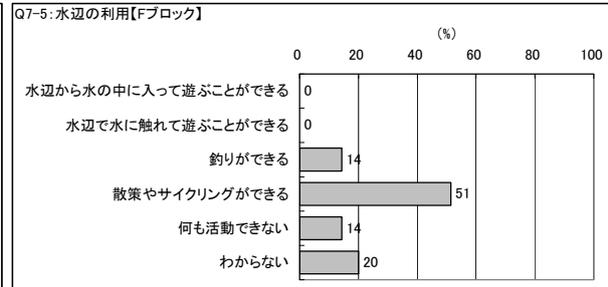
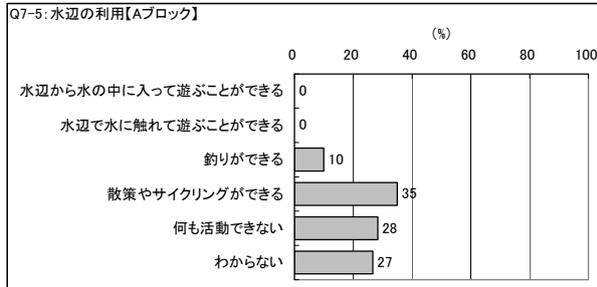
Q7-4: 水際や川の中のゴミ

● 全てのブロックでカンやビンなどのゴミが目につくようである。



Q7-5: 水辺の利用

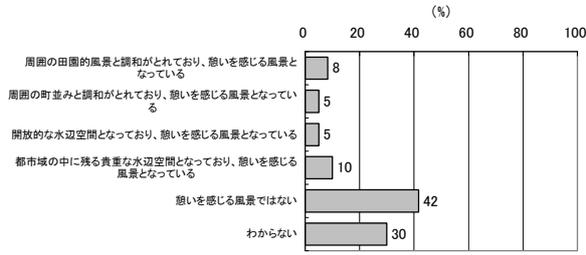
- 散策やサイクリング利用は可能であるが、何もできないと思われている割合も高い。



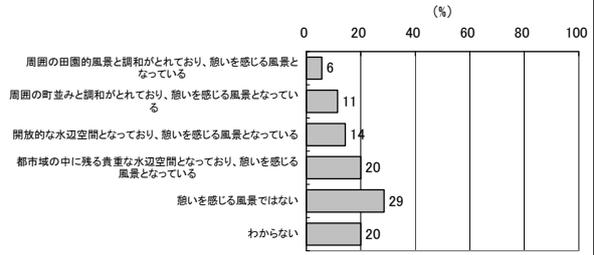
Q7-6: 水辺の風景

● 憩いを感じる風景だと思わない人が多い。

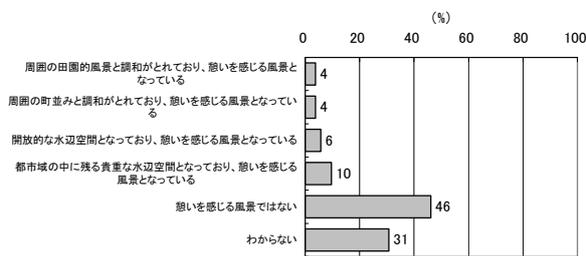
Q7-6: 水辺の風景【Aブロック】



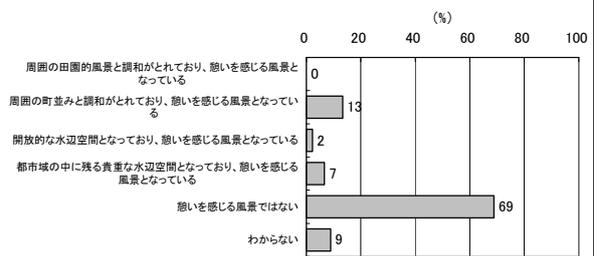
Q7-6: 水辺の風景【Fブロック】



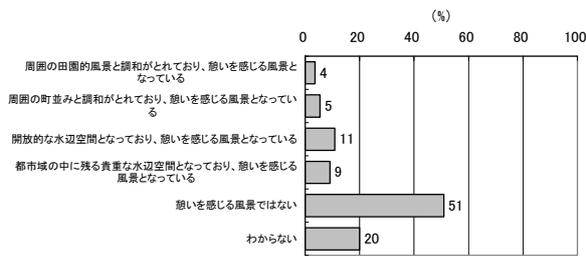
Q7-6: 水辺の風景【Bブロック】



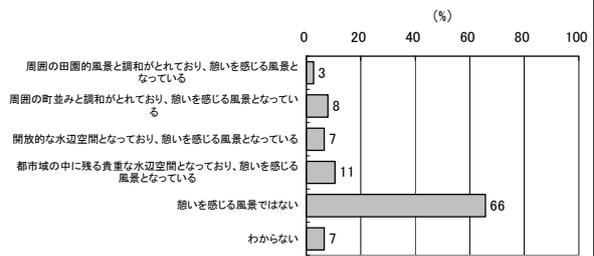
Q7-6: 水辺の風景【Gブロック】



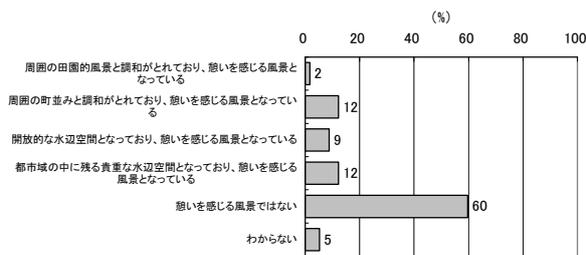
Q7-6: 水辺の風景【Cブロック】



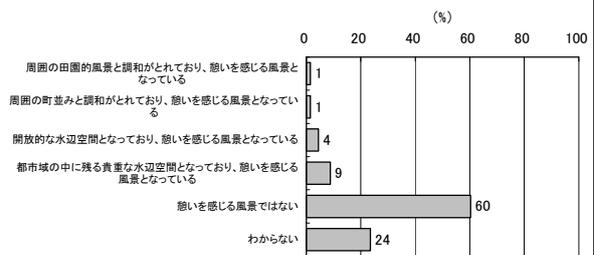
Q7-6: 水辺の風景【Hブロック】



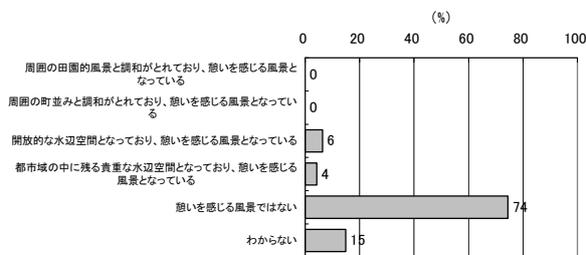
Q7-6: 水辺の風景【Dブロック】



Q7-6: 水辺の風景【I・Jブロック】



Q7-6: 水辺の風景【Eブロック】



【回答者属性(性別・年齢)】

